

DEC. 2016

ISSN 0917-3102

No. 52

タテハモドキ

TATEHAMODOKI



宮崎昆虫同好会

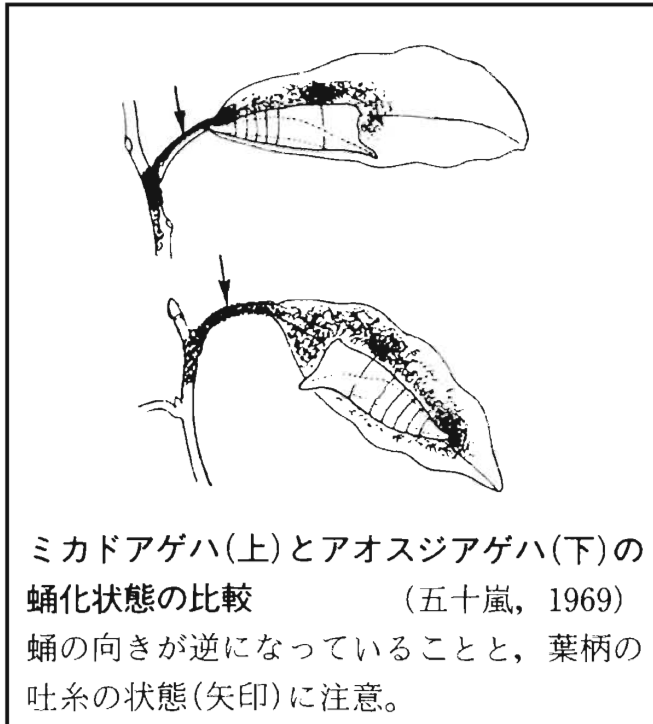
ミカドアゲハの蛹化方向－葉先方向？それとも葉柄方向？－(Ⅱ)

川野雅喜

(大分市葛木 982-5 : 〒870-0133)

1. はじめに

2016年、2015年に続きミカドアゲハの蛹化方向について調べてみた。その結果2015年の観察結果、『「ミカドアゲハの蛹化方向は葉先向き」と断定することはできない。寧ろ、在来種オガタマノキ (*Michelia compressa*) では蛹化方向は葉柄向きが普通であるが葉先向きも少数発生する。』とほぼ同様の結果が得られたので報告する。また、蛹化方向と吐糸と羽化の関係についても、興味深い観察結果が得られたので併せて報告する。



原色日本蝶類生態図鑑(Ⅰ)

原色日本蝶類生態図鑑(Ⅰ)によるとミカドアゲハの蛹化方向について「葉柄の主として上面に入念に吐糸して枝と結び、羽化前の落葉を防止する」「葉柄と葉身の境目付近に腹端を固定し、葉先を向いて蛹化する結果、背面の様子が葉脈とまざらわしくなる。」と説明されている。

日本産幼虫図鑑では「葉柄の基部を糸で固定し、葉先向きに蛹化することが多い。」とされている。

2. 食樹と蛹化方向

(1) 食樹

2015年は鉢植え園芸種オガタマノキ(ポートワイン) (*Michelia figo*) を食樹としたが、2016年も引き続き鉢植えの園芸種を食樹として用いた。さらに2016年は2015年末に購入した2年生の在来種オガタマノキ (*Michelia compressa*) を鉢植えと露地植えにして食樹として用い、それぞれについて蛹化方向を観察した。

(2) 園芸種での蛹化

2015年は園芸種を食樹とし室内や屋外で幼虫を飼育して蛹化方向を調べてみたが、飼育数が少なく十分な結果が得られなかった。それで2016年も引き続き園芸種で蛹化方向を調べることにした。今回は全て屋外で飼育を行った。ただし、天敵を防ぐためネットは被せている。蛹化方向を2015年の結果とともに次に示す。

園芸種	2015	2016
葉先向き	4	2
葉柄向き	3	3



葉柄向き 2016. 6. 10



葉先向き 2016. 7. 20

2015, 2016 とも飼育数は少ないが、蛹化方向の傾向にそれほど差が無いように見える。平均すると、園芸種での蛹化方向は、

平均 葉先向き：葉柄向き = 1 : 1
 としても良いだろう。

(2) 在来種での蛹化

2015 年は神社のオガタマノキで蛹化方向を調べたが、もっと手近に楽に調べたくて通販で在来種オガタマノキの苗、2 年生 3 本を 2015 年末に購入し、2016 年に食樹として幼虫を飼育した。

屋外で幼虫を飼育する時、神社のオガタマノキと同様のできるだけ自然な状態を目指した。そのため、はじめは天敵防止のためのネットを被せなかったが、結果は予想された通りであった。



捕食される幼虫 2016. 7. 21

在来種オガタキノキ葉上の幼虫を捕食するアシナガバチ。解体された幼虫に終齢幼虫の特徴的な目玉模様が確認できる。ハチは捕食した場所を記憶しており、再三やってきて葉の表から裏まで丁寧に調べて行くので脅威になる。ゴマダラチョウの屋外飼育では 10 数匹いた幼虫が数日で全滅したことがある。屋外飼育では天敵の防御が欠かせない。

以後、植木鉢は室内に入れ、露地植えのものはネットで囲う様にして幼虫を飼育し、蛹化方向を観察した。

蛹化方向を 2015 年の結果とともに次に示す。

在来種	2015 神社	2016 自宅
葉先向き	3	8
葉柄向き	1 2	4



葉柄向き 2016. 7. 17

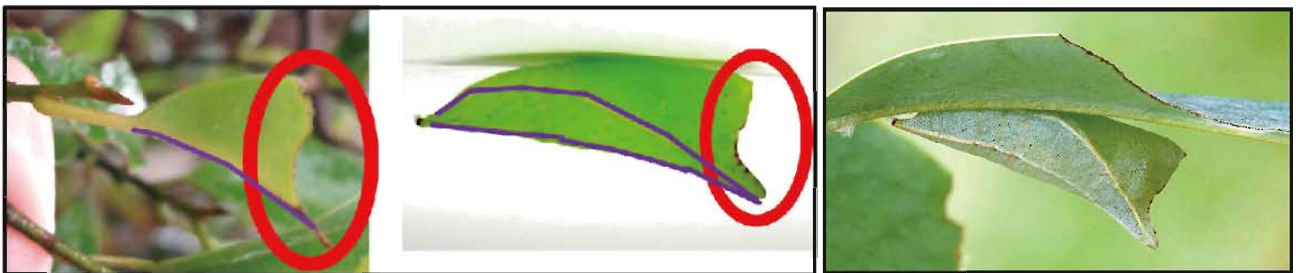


葉先向き 2016. 7. 29 日

2015年の神社オガタマノキと2016年の自宅オガタマノキでは蛹化方向の傾向が異なるように見える。在来種での蛹化方向を調べるには、まだ観察数が少ないためかもしれないし、食樹の大きさ(樹齢約80年の大木と樹齢3年の小木。小木だと隠れる所がない)、室内飼育、ネットによる屋外の囲い、などが蛹化方向に影響しているのかもしれない。

3. 蛹化方向の決定要因

ミカドアゲハやアオスジアゲハのサナギは、食樹の葉の葉脈の方向と、緑色のサナギの体表を走る淡黄色のスジが重なり、さらに食痕が目立たないようにサナギの体型と色を変化させることで捕食者を避けていると考えられている。



台湾オガタマとサナギ 上田恵介、大山弘貴による

擬態するサナギ 2016. 9. 19

そして、その捕食者を避ける効果が最大になるように食樹の葉に合わせて、ミカドアゲハは葉裏葉柄の際で葉先向きに蛹化し、アオスジアゲハは葉裏で葉柄向きに蛹化するとされている。

しかし、2年続けた観察結果はこれらの説明とミカドアゲハのサナギの蛹化方向の傾向は相容れないものである。もちろん自然は理屈通りに進むわけでは無いので、多少の例外・間違いがあるのが当然で、それらが観察されても全く問題は無い。でも、例外・間違いが明らかに多い。ここが問題である。

また、園芸種と在来種では、蛹化方向の傾向に差がある様に見える。この差が食樹の葉の大きさの違いや小枝の混み具合の違いによってもたらされているのか、それともそれ以外の要因がいくつかあって差が出てきているのか今のところ全く分からない。

ただ言えるのは、ミカドアゲハの蛹化方向の説明として今まで言われていたことは正確では無い、部分的にしか当てはまらない、見直しが必要と言うことである。

4. 蛹化方向と吐糸

蛹化方向によって葉柄への吐糸の状態が異なる傾向があり、羽化の時期にも関係するようであり、簡単にまとめてみた。

(1) 園芸種

葉先向きのサナギは、葉柄を吐糸で括り付けているが、括り付けの程度には差がある。葉柄向きのサナギには括り付けは見られないようである。



葉先向き 括り付け強 2016. 7. 22



葉先向き 括り付け弱 2016. 7. 22



葉柄向き 括り付け無し 2016. 8. 7



【左図 拡大】

(園芸種は、小枝に茶色の毛が沢山ある)

園芸種では葉先向きのサナギ1個が茶色く変色してしまったが、残ったサナギはサナギの向き、括り付けの有る無しに関係なく、全て年内に羽化した。2015年も園芸種で育ったサナギは鳥に捕食されたもの以外は全て年内に羽化した。

(2) 在来種

園芸種の場合と同様に、葉柄向きのサナギには吐糸による括り付けは見られない。葉先向きのサナギは、葉柄を吐糸でしっかり括り付けているが、括り付けが見られないものがある。このサナギは葉柄の際からやや離れた所で蛹化している。同様のサナギは2015年に大分市南の若宮八幡社でも、2例の観察があり、「葉柄の際から少し離れ、吐糸をせずに葉先向きに蛹化」するものも普通にいるとしてよいだろう。



葉先向き 括り付け強 2016. 7. 28



葉先向き 括り付け強 2016. 8. 3



葉先向き 括り付け無し 2016. 9. 19



葉柄向き 括り付け無し 2016. 9. 22



落葉 括り付け強 2016. 11. 19

このまま日と雨に直接晒されて厳しい冬を越すのだろう。葉裏だと日と雨に直接晒されることはないし、鳥にも見つかりにくい、こうなってしまうと春まで堪えるしか無い。

葉先向きに蛹化するとき、吐糸で葉柄を枝に括り付けていると、落葉という不測の事態が起きてもサナギの落下を防ぐことができる。括り付けは在来種での長い踊期の安全装置であると考えられることができそうである。このことについては原色日本蝶類生態図鑑(I)でも記述があり異論は全く無い。

では、括り付けの無いサナギは長い踊期とそれに伴う落葉を想定していないため、安全装置を必要としていないと考えれば説明が付きそうである。実際、括り付けの無い葉柄向きサナギ4個は全て年内に羽化した。しかし、括り付けのある葉先向きサナギ1個も年内に羽化しているし、無事に年内羽化している。



括り付けという安全装置があるからと言って、別に年を越さなければならないということではない。その逆も言えるだろう。多少の例外・間違いを自然は許容する。

葉先向き 括り付け強 2016. 10. 27

2016年12月20日現在で7個の葉先向きサナギが残っている。5個は葉柄際蛹化で、吐糸で葉柄を枝に括り付けている。1個は葉柄際から離れ吐糸が無い。1個は落葉のため、小枝からぶら下がっている。この7個は多分年を越し、2017年の春に羽化するだろう(楽しみ)。正確な大分市での第1化も観察できるはず。

5. まとめ

蛹化方向と吐糸と羽化について、まだサナギの観察数が不十分と思うが次のように一応考えられるだろう。

①園芸種では蛹化方向の「葉先向き」「葉柄向き」はほぼ同じ割合で発生する。

「葉柄向き」サナギには吐糸は見られない。「葉先向き」サナギは葉柄を吐糸で枝に固定する。そしてサナギは蛹化の向きや吐糸に関係なく、年内に全て羽化する。

ここで重要なのは園芸種をいくら庭や公園に植栽してもそこで育ったミカドアゲハが年内に羽化してしまうならばミカドアゲハの分布拡大には繋がらない可能性があるということである。

園芸種は江戸時代に日本に入ってきたと言われている。そして大木にならず育てやすく鉢植えにでき、その花のとても良い香りから、各地に植えられてきたと思われる。大分市内では公園、神社、民家などに植えられている。ネット通販でも人気の植木のようなのである。こうして園芸種が各地に植えられていけば、ミカドアゲハはもっと広範囲に棲息しても良さそうである。でも、その分布は限られている。近年のミカドアゲハの分布拡大は新しく植栽された在来種と関係するとの説もあり、園芸種の植栽はミカドアゲハの分布拡大には繋がらないという仮説は支持されるかもしれない。もっとも園芸種の植栽は予想外に少ないということもありえる。

②在来種では、蛹化方向の「葉先向き」「葉柄向き」は一定していないように見える。

「葉柄向き」サナギでは吐糸は見られず、全て年内に羽化する。2015年に大分市南の若宮八幡社で7個の「葉柄向き」抜け殻を観察できたこともこのことを裏付けているだろう。

「葉先向き」サナギには吐糸があるのが普通のようなのだが吐糸のないものもある。

在来種ではサナギの向きが年内羽化か越冬翌年羽化(経過観察中)かをほとんど決定するように見える。葉先向きは越冬、葉柄向きは年内羽化である。

したがって、年1化の地域では葉柄向きサナギは発生しないか、また発生したとしても非常に少ないと思われる。図鑑が、年1化の地域の観察に基づいて記述されているとすると、その説明は納得できそうであるが・・・。



珍しい蝶！ミカドアゲハ-曹源寺-

岡山県では年1化とされている。このビデオでは、サナギ6個は全て葉先向き葉柄際である。仮説を裏付けているのかもしれない。

①、②はまだ観察数の少ない中での大凡の傾向としての結論であり、今後見直す可能性もある。自然は、生き物は決して一様では無いことはよく知られているし、さらに観察を続けて行けば、また違った知見が得られるかもしれない。

6. 補足

ミカドアゲハの蛹化方向についての難問(?)の答えも少し見えてきたように思う。来年2017年、さらに観察を進めればもっとはっきりした答えが出せるかもしれない。「かもしれない」が多いが自然の生き物相手であり、仕方が無い。

屋外でネットで囲って経過観察越冬中の、葉先向き葉柄際括り付け有りのサナギ7個の観察結果と併せて(Ⅲ)を報告する予定でいる。しかし、何よりもまずサナギが冬季を無事に乗り切ることを願っている。そして、木が枯れないことを(ちゃんと木の世話をするつもり)。

オガタマノキは在来種、園芸種とも通販で買えるので、鉢植えにして日当たりと風通しのよい所に置いておくと、ミカドアゲハは自然発生するだろう。普通アゲハよりも簡単かも。発生したら室内に移すか、網掛けを忘れないように。終齢になるととても可愛く、家族で楽しめると思う・・・。

なお、常陸宮正仁親王のお印は黄心樹(オガタマノキ)である。



経過観察越冬中 2016. 11. 19

参考ウェブサイト(2016年12月現在)

川野雅喜、大分のチョウ、<http://kiageha.sakura.ne.jp/>

珍しい蝶！ミカドアゲハ —曹源寺—

<http://digioka.libnet.pref.okayama.jp/detail-jp/id/kyo/M2014120214063069272>

参考文献

上田恵介、大山弘貴、2013、アオスジアゲハとミカドアゲハの蛹の擬装～形態と葉への付き方～
立教大学理学部生命理学科

上田恵介、木下豪、2013、アオスジアゲハにおける幼虫・蛹のカモフラージュと葉への付き方
立教大学理学部生命理学科

- 福田春夫ほか、1982、原色日本蝶類生態図鑑(I)、保育社：PLATA9, PLATE11, 93, 96
大津修ほか、1999、ミカドアゲハ成長の記録、Butterflies(24)、56-59
福田治、2004、ミカドアゲハのサナギは下向きが好き、博多虫(8)、39
学研編集部、2005、日本産幼虫図鑑、学研、東京都、121
難波 通孝、2009、岡山県におけるミカドアゲハの分布拡大
～東進に関する定点調査(1999～2008年)～、月刊むし(457)、25-31
出嶋利明、2012、香川県におけるミカドアゲハの分布拡大、やどりが(234)、26-27
福田春男、2012、野外飼育による日本列島におけるミカドアゲハの周年経過の再検討
Butterflies(Teinopalpus)(61)、23-34
井上大成、石井実、平成28年、環境Eco選書12、チョウの分布拡大、北隆館、東京都
川野雅喜、2015、ミカドアゲハの蛹化方向―葉先方向?それとも葉柄方向?―
タテハモドキ(51)、1-6

アオスジアゲハの葉先向き蛹化

川野 雅喜

(大分市葛木982-5 〒870-0133)

アオスジアゲハはミカドアゲハとは蛹化方向が異なり、葉柄向きに蛹化するとされている。
しかし、葉先向きに蛹化する個体がいる。

葉柄向き 2016.10.1

このように頭部を葉柄に向けて蛹化すると説明されている。



葉先向き 2016.8.3



葉先向き 2016.8.8日

3個とも自宅庭に自生した高さ50cmほどのクスノキで、蛹化(前蛹もある)したものである。アオスジアゲハはクスノキの小木に好んで産卵するようで、写真の葉を見て分かるように食痕だらけである。写真を撮るときは、蛹化方向が逆であるとは全く気が付かず、写真の整理中に見つけたものである。

今後丁寧に観察を続けて行けば葉先向き蛹化がさらに見つかり、葉先向きは特に珍しいものではない、葉柄向きと同様に普通という可能性がある。そうすると、アオスジアゲハの「葉柄向き蛹化」を説明する従来の説も修正を迫られるようになるかもしれない。

参考ウェブサイト(2016年現在)

川野雅喜、大分のチョウ、<http://kiageha.sakura.ne.jp/>

参考文献

上田恵介、大山弘貴、2013、アオスジアゲハとミカドアゲハの蛹の擬装～形態と葉への付き方～
立教大学理学部生命理学科

上田恵介、木下豪、2013、アオスジアゲハにおける幼虫・蛹のカモフラージュと葉への付き方
立教大学理学部生命理学科

福田春夫ほか、1982、原色日本蝶類生態図鑑(Ⅰ)、保育社：PLATA9, PLATE11, 93, 96

宮崎県内の甲虫

笹岡康則

(宮崎市大字島之内9481：〒880-0121)

タテハモドキ50号記載以降の記録である。九州で記録が少ないと思われる種類として、①ヒメハンミョウ(新産地)、②サイトウツノツツハネカクシ、③ムツボシマルハナノミ、④タテスジヒメヒゲナガハナノミ、⑤クロビロウドコメツキダマシ(新産地)、⑥ルリホソカッコウ(新産地)、⑦セスジカクケシキスイ、④ヨツモンムクゲキスイ、⑤ヒラタコメツキモドキ、⑥キイロチビオオキノコ、⑦トウキョウムネビロオオキノコ、⑧ケナガカクホソカタムシ、⑨ホソテントウダマシ、⑩アバタツヤナガヒラタホソカタムシ、⑪キュウシュウヒメコキノコムシ、⑫カルベオビハナノミ、⑬ザウテルオビハナノミ、⑭クロソンマグソコガネダマシ、⑮カラカネチビキマワリモドキ、⑯ハラアカチビキマワリモドキ、⑰ケブカトラカミキリ、⑱オオカミチョッキリ、⑲アマミアカサルゾウムシなどが確認された。

同定には、木野田毅氏、今坂正一氏、三宅武氏、堤内雄二氏、生川展行氏、森田誠司氏、吉富博之氏、稲垣政志氏、鈴木瓦氏、久松定智氏、安藤清志氏、官能健次氏に大変お世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。採集に同行していただいた日高健二氏、安本潤一氏、小岩屋敏氏、宮昆会員にお礼申し上げます。

仕事上採集時間が制約されるため採集は地上F I Tを多用した。鈴木瓦氏との採集に同行し効率の良い吊り下げ式F I Tを教えていただいた。今後地上F I Tとは異なる甲虫類が採集されると期待している。まだ同定の終わっていない採集品がたくさんあるが、宮崎の甲虫の記録を今後も集積していきたいと思う。

1	ナガヒラタムシ科	ナガヒラタムシ	Tenomerga mucida (Chevrolat) 12、VII、2015 高崎町高崎天文台
2	ヒゲブトオサムシ科	エグリゴミムシ	Eustra japonica Bates 24、X、2015 茶臼岳林道 (同定生川)
3	ハンミョウ科	コニワハンミョウ	Cicindela transbaicalica japonensis Chaudoir 2016、VII、13 西都市三財
4	ハンミョウ科	トウキョウヒメハンミョウ	Cicindela kaleea yedoensis Kano 31、V、2015。7、VI、2016 宮崎市下北方
5	オサムシ科	ヒメオサムシ	Carabus japonicus japonicus Motschulsky 28、III、2015 式部岳
6	オサムシ科	コヒメヒョウタンゴミムシ	Clivina vulgivaga Boheman 14、24、VIII、2014 大森岳(同定森田誠司)
7	オサムシ科	ガロアミズギワゴミムシ	Bembidion galloisi Netolitzky 1、VIII、2015 大森岳 (同定生川展覧) 25、VI、2014 大森岳 (同定森田誠司)
8	オサムシ科	オオアオミズギワゴミムシ	Bembidion lissonotum Bates 20、VI、2015 綾北川 (同定生川展覧)
9	オサムシ科	アトオビコミズギワゴミムシ	Macrotachys recurvicollis (Andrewes) 14、VI、2014 大森岳(同定森田誠司) 2exs
10	オサムシ科	クロモリヒラタゴミムシ	Colpodes atricomus Bates 25、VII、2014 1 大森岳 (同定森田誠司) 1、VIII、2015 大森岳 2exs, 28、VII, 1、VIII、2015 大森岳 2exs (同定生川展覧) 24、25、VI、2014 大森岳 (同定森田誠司)
11	オサムシ科	チャイロホソヒラタゴミムシ 新称チャイロホソモリヒラタゴミムシ	Colpodes kyushuensis (Habu) 変更 Atranodes kyushuensis (Habu) 25、VII、2014 大森岳(同定森田誠司)
12	オサムシ科	サドモリヒラタゴミムシ	Colpodes limodromoides Bates 216、V、1 大森岳 (同定森田誠司)
13	オサムシ科	イクビモリヒラタゴミムシ	Colpodes modestior Bates 25、VII、2014 大森岳 (同定森田誠司)
14	オサムシ科	ベーツヒラタゴミムシ	Euplynes batesi Harold 24、VI、24、VIII、2014(大森岳(同定森田誠司))
15	オサムシ科	ヒメツヤゴモクムシ	Trichotichnus congruus (Motschulsky) 25、VII、2014. 24、VII、2015 大森岳 (同定森田誠司)
16	オサムシ科	キイロチビゴモクムシ	Acupalpus inornatus Bates 15、VII、2015 綾北川 (同定生川展覧)
17	オサムシ科	クロズホナシゴミムシ	Perigona nigriceps (Dejean) 2015、XI、29 延岡市島の浦
18	オサムシ科	カドツブゴミムシ	Pentagonica angulosa Bates 20、VI、2015 綾北川 (同定生川展覧)
19	オサムシ科	クロツブゴミムシ	Pentagonica subcordicollis Bates 29、VI、2014 大森岳 (同定森田誠司)
20	オサムシ科	ベーツホソアトキリゴミムシ	Dromius batesi Habu 24、VII、2015 大森岳 (同定生川展覧)

21	オサムシ科	ハネビロアト キリゴミムシ	<i>Lebia duplex</i> Bates 18, IV, 2015 綾北川 3exs (同定生川展覧)
22	オサムシ科	アトグロジュ ウジアトキリ ゴミムシ	<i>Lebia idae</i> Bates 18, IV, 2015 綾北川
23	ゲンゴロウ科	チビゲンゴロ ウ	<i>Guignotus japonicus</i> (Sharp) 20, VI, 2015 綾北川 (同定生川展覧)
24	ゲンゴロウ科	モンキマメゲ ンゴロウ	<i>Platambus pictipennis</i> (Sharp) 15, VII, 2015 綾北川 18, VI, 2013 大森岳
25	エンマムシ科	キノコアカマ ルエンマムシ	<i>Notodoma fungorum</i> Lewis 10, V, 2015 綾北川
26	エンマムシ科	コエンマムシ	<i>Margarinotus</i> (<i>Grammostethus</i>) <i>niponicus</i> (Lewis) 2016, IV, 15, 16 大森岳 (同定生川)
27	シデムシ科	クロシデムシ	<i>Nicrophorus concolor</i> Kraatz 18, IV, 2015 綾北川 24, VI, 2011 大森岳
28	シデムシ科	オオモモブト シデムシ	<i>Necrodes asiaticus</i> Portevin 18, IV, 2015 綾北川 29, VII, 2011 大森岳
29	ハネカクシ科	オサシデムシ モドキ	<i>Apatetica princeps</i> (Sharp) 2016, V, 26 鱒塚山
30	ハネカクシ科	サイトウツノ ツツハネカク シ	<i>Priochirus masahiroi</i> Naomi 20, XI, 2014 式部岳) 同定三宅武)
31	ハネカクシ科	イトヒゲニセ マキムシ	<i>Dasycerus japonicus</i> Nakane 24, X, 2015 茶臼岳林道
32	ハネカクシ科	ヒメセスジデ オキノコムシ	<i>Ascaphium apicale</i> Lewis 2016, IV, 16 大森岳 8 同定生川)
33	ハネカクシ科	コクロデオキ ノコムシ	<i>Scaphidium optabile</i> (Lewis) 4, X, 2014 川南町遊学の森 VII, VI, 2015 綾北川 1♂ (同 定生川展覧) 1♂
34	マルハナノミ科	ムツボシマル ハナノミ	<i>Prionocyphon sexmaculatus</i> Lewis 2016, IV, 16 大森岳
35	マルハナノミ科	ホソキマルハ ナノミ	<i>Elodes elegans</i> Yoshitomi 2016, V, 7 茶臼岳林道 (同定吉富博之)
36	クワガタムシ科	マダラクワガ タ	<i>Aesalus asiaticus asiaticus</i> Lewis 18, I, 2015 大森岳 成虫幼虫多数
37	クワガタムシ科	マメクワガタ	<i>Figulus punctatus</i> Waterhouse 2014, XI, 2014 都井岬
38	クワガタムシ科	オニクワガタ	<i>Prismognathus angularis angularis</i> Waterhouse 27, VI, 2015 式部岳 羽化確認 1♂
39	クワガタムシ科	ヒラタクワガ タ	<i>Serrognathus platymelus pilifer</i> (Snellen van Vollenhoven) 19, VIII, 2015 大森岳 2♂
40	コガネムシ科	アカマダラセ ンチコガネ	<i>Ochodaeus maculatus maculatus</i> Waterhouse 16, IV, 2015 綾北川 3exs
41	コガネムシ科	ニッコウコエ ンマコガネ	<i>Caccobius nikkoensis</i> Lewis 15, V, 2016 大森岳 (同定稲垣政志)
42	コガネムシ科	コツヤマグソ コガネ	<i>Aphodius</i> (<i>Paulianellus</i>) <i>maderi</i> Balthasar 28, IV, 2016 大森岳 (同定稲垣政志)
43	ナガハナノミ科	タテスジヒメ ヒゲナガハナ ノミ	<i>Drupeus vittipennis</i> Lewis 2016, V, 7 茶臼岳林道 (同定吉富博之)

44	ナガハナノミ科	クリイロヒゲ ナガハナノミ	<i>Pseudoepilichas niponicus</i> (Lewis) 13、V、2015 綾北川。8、V、2016 茶臼岳林道 (同定 吉富博之)
45	タマムシ科	ウバタマムシ	<i>Chalcophora japonica japonica</i> (Gory) 17、VII、2015 大森岳
46	タマムシ科	ウメチビタマ ムシ	<i>Trachys inconspicua</i> E. Saunders 2016、X、5 宮崎市島之内
47	ホソクシヒゲムシ 科	ムネアカクシ ヒゲムシ	<i>Horatocera niponica</i> Lewis 10、VI、2015 式部岳羽化脱出 leg 日高謙治
48	コメツキムシ科	トラフコメツ キ	<i>Selatosomus onerosus</i> (Lewis) 2016、V、7 大森岳
49	ヒゲブトコメツキ 科	ナガヒゲブト コメツキ	<i>Aulonothroscus longulus</i> (Weise) 1、VIII、2015 大森岳 (同定生川展覧) 2exs 18、VI、10、 IX、2013 23、25、VII、2014 大森岳 (同定生川展覧) 24、VIII、2014 (同定生川展覧)
50	コメツキダマシ科	アイヌツヤヒ メコメツキダ マシ	<i>Xylobius ainu</i> Fleutiaux 2016、VI、1 大森岳 (同定鈴木瓦)
51	コメツキダマシ科	ケモンヒメミ ゾコメツキダ マシ	<i>Dromaeolus cariniceps</i> Fleutiaux 2014、IX、25 五ヶ瀬町 (同定鈴木瓦)
52	コメツキダマシ科	クロビロウド コメツキダマ シ	<i>Pterotarsus borealis</i> Hisamatsu 22、23、IV、2015 西都市三財 脱出痕多数確認 21、V、2014 西都市三財
53	コメツキダマシ科	アイヌコメツ キダマシ	<i>Farsus ainu</i> Fleutiaux 2014、IX、25 五ヶ瀬町 (同定鈴木瓦)
54	ベニボタル科	スマアカベニ ボタル	<i>Conderis pictus</i> Gorham 2016、V、20 大森岳
55	ホタル科	ムネクリイロ ボタル	<i>Cyphonocerus ruficollis</i> Kiesenwetter 7、VI、2015 綾北川 (同定生川展覧)
56	ジョウカイボン科	クリイロジョ ウカイ	<i>Stenothemus badius</i> (Kiesenwetter) 1、VIII、2015 大森岳
57	ジョウカイボン科	ヒメキンイロ ジョウカイ	<i>Themus midas</i> (Kiesenwetter) 2016、V、26 鱧塚山
58	コクヌスト科	セダカコクス スト	<i>Thymalus parviceps</i> Lewis 5、IX、2015 大森岳
59	カッコウムシ科	ルリホソカッ コウムシ	<i>Spinzoa coerulea</i> Lewis 13、V、2015 綾北川
60	カッコウムシ科	クロダンダラ カッコウムシ	<i>Stigmatium nakanei</i> Iga 24、VI、2014 大森岳
61	ケシキスイ科	ドウイロムク ゲケシキスイ	<i>Aethina aeneipennis</i> Reitter 7、VI、2015 綾北川 (同定生川展覧)
62	ケシキスイ科	コクロムクゲ ケシキスイ	<i>Aethina inconspicua</i> Nakane 24、VII、2014 1、VIII、2015 大森岳 (同定生川展覧)
63	ケシキスイ科	クロマルケシ キスイ	<i>Cyllodes ater</i> (Herbst) 22、V、2015 綾北川
64	ケシキスイ科	ヘリムネヒラ タケシキスイ	<i>Epuraea bickhaldti</i> Deville 16、VIII、2014 大森岳 (同定久松定智) 1♂
65	ケシキスイ科	ツバキヒラタ ケシキスイ	<i>Epuraea commutata</i> Grouvelle 10、V、2015 綾北川 (同定生川展覧)

66	ケシキスイ科	ウスモンアカ ヒラタケシキ スイ	<i>Epuraea kyushuensis</i> Sjoberg 24、VI、2014 大森岳(同定久松定智) 1♀
67	ケシキスイ科	エグリヒラタ ケシキスイ	<i>Epuraea similis</i> Reitter 24、VI、2014 大森岳 (同定久松定智)
68	ケシキスイ科	マメヒラタケ シキスイ	<i>Haptoncurina paulula</i> (Reitter) 2016、VII、18 高崎天文台 (同定生川)
69	ケシキスイ科	コクロヒラタ ケシキスイ	<i>Ipidia sibirica</i> (Reitter) 4、X、2014 川南遊学の森 (同定生川)
70	ケシキスイ科	コブスジケシ キスイ	<i>Lasiodactylus tuberculifer</i> Reitter 2015、XI、29 延岡島の浦
71	ケシキスイ科	アミモンヒラ タケシキスイ	<i>Physoronia hilleri</i> (Reitter) 4、10、2015 大森岳
72	ケシキスイ科	マルガタカク ケシキスイ	<i>Pocadites japonus</i> (Reitter) 22、V、2015 綾北川 (同定生川展覧)
73	ケシキスイ科	セスジカクケ シキスイ	<i>Pocadites oviformis</i> Reitter 2016、V、8 木城町板谷林道
74	ケシキスイ科	マルキマダラ ケシキスイ	<i>Stelidota multiguttata</i> Reitter 2015、11、29 延岡島の浦 (同定生川)
75	ケシキスイ科	キベリチビケ シキスイ	<i>Meligethes violaceus</i> Reitter 20、VI、2015 綾北川 (同定生川展覧) 2exs 2、V、24、VI、2014 大森岳 (同定生川展覧)
76	ケシキスイ科	ヒラタオニケ シキスイ	<i>Librodor binaevus</i> (Reitter) 10、V、2015 綾北川
77	ヒメキノコムシ科	マルヒメキノ コムシ	<i>Aspidophorus japonicus</i> Reitter 10、V、2015 綾北川 (同定生川)
78	ヒラタムシ科	ルイスチビヒ ラタムシ	<i>Notolaemus lewisi</i> (Reitter) 8、25、V、2014 大森岳 (同定生川展覧)
79	ヒラタムシ科	セマルチビヒ ラタムシ	<i>Xylolestes laevior</i> (Reitter) 15、VII、2015 綾北川 (同定生川展覧)
80	ホソヒラタムシ科	フタトゲホン ヒラタムシ	<i>Silvanus bidentatus</i> (Fabricius) 23、VIII、2015 大森岳 (同定生川展覧)
81	ホソヒラタムシ科	ミツモンセマ ルヒラタムシ	<i>Psammoeocus triguttatus</i> Reitter 1、VIII、2015 大森岳、18、IV2015 綾北川 18、VI2013、29、 V、24、VI、2014 大森岳 (同定生川展覧)
82	キスイモドキ科	ツノブトホタ ルモドキ	<i>Xerasia variegata</i> Lewis 19、27、IV、2014 大森岳 (同定生川展覧)
83	ムクゲキスイムシ科	ヨツモンムク ゲキスイ	<i>Biphyllus oshimanus</i> Nakane 10、V、15、VII2015 綾北川(同定生川展覧)
84	コメツキモドキ科	ヒラタコメツ キモドキ	<i>Xenoscelinus hiranoi</i> Sasaji 2016、VII、18 高崎天文台 (同定生川展覧)
85	オオキノコムシ科	クロバチビオ オキノコ	<i>Pseudamblyopus similis</i> (Lewis) 2016、IV、15 大森岳
86	オオキノコムシ科	キイロチビオ オキノコ	<i>Rhodotritoma sufflava</i> (Lewis) 2015、X、12 綾北川。2016、IV、15 大森岳 (同定生川)
87	オオキノコムシ科	セモンチビオ オキノコ	<i>Triplax discicollis</i> Lewis 2016、IV、15 大森岳 (同定生川)
88	オオキノコムシ科	トモンチビオ オキノコ	<i>Tritoma asahinai</i> Nakane 10、V、2015 綾北川(同定生川展覧)

89	オオキノコムシ科	フタオビチビ オオオキノコ	<i>Tritoma latifasciata</i> (Lewis) 27, V. 31, VI, 2016. 13, V, 2012 大森岳 (同定生川展 行)
90	オオキノコムシ科	ミツボシチビ オオオキノコ	<i>Tritoma maculifrons</i> (Lewis) 2016, VI, 31 大森岳 (同定生川)
91	オオキノコムシ科	クロチビオオ キノコ	<i>Tritoma niponensis</i> (Lewis) 24, X, 2015 茶臼岳林道 (同定生川)
92	オオキノコムシ科	クロモンチビ オオオキノコ	<i>Tritoma pantherina</i> (Lewis) 2016, V, 27 大森岳 (同定生川)
93	オオキノコムシ科	ヒゴノムネビ ロオオキノコ	<i>Microsternus higonius</i> Lewis 2016, VI, 1 大森岳 (同定生川)
94	オオキノコムシ科	トウキョウム ネビロオオキ ノコ	<i>Microsternus tokioensis</i> Nakane 2016, VII, 18 大森岳 (同定生川)
95	オオキノコムシ科	ミイロムネビ ロオオキノコ	<i>Microsternus tricolor</i> Lewis 2016, VI, 1 大森岳 (同定生川)
96	カクホソカタムシ 科	ケナガカクホ ソカタムシ	<i>Cerylon takara</i> Nakane 23, VIII, 2015 大森岳。V, VIII, 2016 木城町板谷林道 (同 定生川展)
97	テントウムシダマ シ科	イツホシテン トウダマシ	<i>Leistes decoratus</i> (Gorham) 23, VIII, 2015 大森岳 (同定生川展)
98	テントウムシダマ シ科	ホソテントウ ダマシ	<i>Panamomus brevicornis</i> Gorham 2016, V, 8 木城町板谷林道
99	テントウムシダマ シ科	チャバネムク ゲテントウダ マシ	<i>Stenotarsus chrysomelinus</i> Gorham 16, VII, 2015 綾北川 (同定生川展)
100	テントウムシダマ シ科	キボシテント ウダマシ	<i>Mycetina amabilis</i> Gorham 22, V, 2015 綾北川
101	テントウムシダマ シ科	キスジテント ウダマシ	<i>Endomychus plagiatus</i> (Gorham) 2016, V, 8 木城町板谷林道
102	テントウムシ科	ハレヤヒメテ ントウ	<i>Pseudoscymnus hareja</i> (Weise) 24, V, 2013 大森岳 (同定齊藤琢磨)
103	テントウムシ科	カメノコテン トウ	<i>Aiolocaria hexaspilota</i> (Hope) 25, III, 2015 鰐塚山
104	テントウムシ科	オオテントウ	<i>Synonycha grandis</i> (Thunberg) 16, IX, 2015 宮崎市広原
105	コブゴミムシダマ シ科	ヨコモヒメ ヒラタホソカ タムシ	<i>Cicones bitomoides</i> Sharp 変更 <i>Microsicus bitomoides</i> (sharp) 4, X, 2014 川南町遊学の森 (同定生川展) 4ex s 15, VI, 2014 大森岳 (同定生川展)
106	コブゴミムシダマ シ科	ノコギリホソ カタムシ	<i>Endophloeus serratus</i> Sharp 24, V, 2014 大森岳 (同定生川展)
107	コブゴミムシダマ シ科	ヒサゴホソカ タムシ	<i>Glyphocryptus brevicollis</i> Sharp 12, X, 2015 綾北川 (同定生川)
108	コブゴミムシダマ シ科	ツヤケシヒメ ホソカタムシ	<i>Microprius opacus</i> (Sharp) 4, X, 2014 川南町遊学の森 (同定生川展) 5exs 21, VI, 2015 霧島皇子原 21, IX, 2015 コシキ岳 11, X, 2014 川南町遊学の森
109	コブゴミムシダマ シ科	サシゲホソカ タムシ	<i>Neotrichus hispidus</i> Sharp 23, VIII, 2015 大森岳 4exs (同定生川展)

110	コブゴミムシダマシ科	アバタツヤナガヒラタホソカタムシ	<i>Penthelispa sculpturatus</i> (Sharp) 24, VII, 2015 大森岳 (同定生川展覧)
111	コブゴミムシダマシ科	ツヤナガヒラタホソカタムシ	<i>Penthelispa vilis</i> (Sharp) 24, VII. 1, VIII, 2015 大森岳 5、VII、13, IV, 2013、29, V, 25, 28, VI, 25, VII, 2014 大森岳 (同定生川展覧)
112	コブゴミムシダマシ科	ダルマチビホソカタムシ	<i>Pseudotarphius lewisii</i> Wollaston 10、V, 2015 綾北川 (同定生川展覧) 12, V, 2012, 24, V, 2014 大森岳 (同定生川展覧) 12、V, 2012 大森岳 (同定生川展覧)
113	コブゴミムシダマシ科	セスジツツホソカタムシ	<i>Cylindromicrus gracilis</i> Sharp 12、X, 2015 綾北川 2exs (同定生川)
114	デバヒラタムシ科	デバヒラタムシ	<i>Prostomis latoris</i> Reitter 2016, III, 20 鰐塚山
115	コキノコムシ科	コモンヒメコキノコムシ	<i>Litargus japonicus</i> Reitter 24, VII. 1, VIII (2exs) 2015 大森岳 (同定生川展覧) 24, V, 13, 29, VI, 24, VII, 2014 大森岳 (同定生川展覧)
116	コキノコムシ科	キュウシュウヒメコキノコムシ	<i>Litargus kyushuensis</i> Miyatake 1、VIII、2015 大森岳 25, VII, 2014 大森岳 (同定生川展覧)
117	コキノコムシ科	ヒゲブトコキノコムシ	<i>Mycetophagus antennatus</i> (Reitter) 24、VII、2015 大森岳 28, V, 15, 24, VI, 16, VIII, 2014 大森岳 (同定生川展覧)
118	コキノコムシ科	コマダラコキノコムシ	<i>Mycetophagus pustulosus</i> (Reitter) 4、X, 2014 川南町遊学の森 (同定生川展覧) 25, VI, 2012 28, V 2014 大森岳 (同定生川展覧)
119	ツツキノコムシ科	キタツツキノコムシ	<i>Cis seriatopilus</i> Motshulsky 14、X, 2015 綾北川 (同定生川)
120	ツツキノコムシ科	スエヒロタケツツキノコムシ	<i>Orthocis schizophylli</i> (Nakane et Nobuchi) 24、X 2015 茶臼岳林道 (同定生川)
121	ナガクチキムシ科	ヨツボシヒメナガクチキ	<i>Holostrophus lewisi</i> Csiki 2015、X、4 大森岳
122	ナガクチキムシ科	モリモトヒメナガクチキ	<i>Holostrophus morimotoi</i> Sasaji 2016、IV、15 大森岳 (同定生川)
123	ナガクチキムシ科	カバイロニセハナノミ	<i>Orchesia ocularis</i> Lewis 24、X, 2015 茶臼岳林道 (同定生川)
124	ナガクチキムシ科	ミゾバネナガクチキ	<i>Melandrya modesta</i> Lewis 2016、VI、2 鰐塚山
125	ナガクチキムシ科	フタモンヒメナガクチキ	<i>Microtonus dimidiatus</i> (Marseul) 206、IV、19 大森岳 (同定生川展覧)
126	ナガクチキムシ科	モモキホソナガクチキ	<i>Phloeotrya femoralis</i> (Lewis) 18, IV、2015 綾北川
127	ナガクチキムシ科	ミヤケヒメナガクチキ	<i>Symphora miyakei miyakei</i> Nomura et Hayashi 2016、V、31 鰐塚山 (同定生川)
128	ナガクチキムシ科	ナガイホソナガクチキ (ナガイツツナガクチキ)	<i>Xylita nagaii</i> Nakane 1, VIII, 2015 大森岳 (同定生川展覧) 25, VII, 2014 大森岳 (同定生川展覧)

129	ハナノミ科	カルベオビハ ナノミ	<i>Glipa karubei</i> Takakuwa 1、VIII、2015 西都市三財
130	ハナノミ科	ザウテルオビ ハナノミ	<i>Glipa sauteri</i> Pic 10、VII、2015 西都市三財
131	カミキリモドキ科	ハネアカカミ キリモドキ	<i>Asclera brunneipennis</i> Lewis 12、VII、2015 鰐塚山
132	アリモドキ科	アカホソアリ モドキ	<i>Anthicus fugiens</i> Marseul 18、IV、2015 綾北川 (同定生川展覧)
133	ハムシダマシ科	クロケブカハ ムシダマシ	<i>Macrolagria robusticeps</i> (Lewis) 2016、V、31 鰐塚山 (同定生川)
134	クチキムシ科	ホソアカクチ キムシ	<i>Allecula tenuis</i> Marseul 2015、VIII、1 大森岳 (同定安藤清志)
135	クチキムシ科	クロツヤバネ クチキムシ	<i>Hymenalia unicolor</i> Nakane 7、VI、2015 綾北川 14、VI、2014 コシキ岳山麓
136	クチキムシ科	カタモンヒメ クチキムシ	<i>Mycetochara mimica</i> Lewis 215、VII、24 大森岳 (同定安藤清志)
137	クチキムシ科	ムネアカヒメ クチキムシ	<i>Mycetochara scutellaris</i> Lewis 10、V、2015 綾北川 (同定生川展覧)
138	ゴミムシダマシ科	コブスジツノ ゴミムシダマ シ	<i>Boletoxenus bellicosus</i> (Lewis) 2016、6、1 大森岳大森岳 (同定安藤清志)
139	ゴミムシダマシ科	クロソンマグ ソコガネダマ シ	<i>Bolitotrogus kurosonis</i> Miyatake 2016、VI、1 大森岳
140	ゴミムシダマシ科	マルツヤキノ コゴミムシダ マシ	<i>Platydema kurama</i> Nakane 2016、V、8 木城町板谷林道 (同定安藤清志)
141	ゴミムシダマシ科	ベニモンキノ コゴミムシダ マシ	<i>Platydema subfascia subfascia</i> (Walker) 4、X、2014 川南町遊学の森 (同定生川展覧) 1♂1♀
142	ゴミムシダマシ科	テントウゴミ ムシダマシ	<i>Leiochrinus satzumae</i> Lewis 17、X、2015 綾北川 (同定生川)
143	ゴミムシダマシ科	クロホソゴミ ムシダマシ	<i>Hypophloeus colydioides</i> (Lewis) 2016、I、4 鰐塚山
144	ゴミムシダマシ科	オオエグリゴ ミムシダマシ (ヤマトエグ リゴミムシダ マシ)	<i>Uloma lewisi</i> Nakane 1、VIII 2015 大森岳 (同定生川展覧) 1♂3♀
145	ゴミムシダマシ科	コツヤホソゴ ミムシダマシ	<i>Menophilus lucens</i> Marseul 2015、VIII、1 大森岳 (同定安藤精清志)
146	ゴミムシダマシ科	ズビロキマワ リモドキ	<i>Gnesis helopioides helopioides</i> Pascoe 2016、II、14 延岡島の浦
147	ゴミムシダマシ科	カラカネチビ キマワリモド キ	<i>Tetragonomenes palpaloides</i> (Nakane) 5、IX、2013 大森岳 (同定安藤清志)
148	ゴミムシダマシ科	ハラアカチビ キマワリモド キ	<i>Tetragonomenes rufiventris</i> (Kaszab) 2015、VII、24 大森岳 (同定安藤清志)

149	ゴミムシダマシ科	マルムネゴミムシダマシ	<i>Tarpela cordicollis</i> (Marseul) 2016、IV、16 大森岳 (同定生川)
150	ゴミムシダマシ科	ウスイロゴミムシダマシ	<i>Strongylium brevicorne</i> Lewis 2016、V27 大森岳 (同定安藤清志)
151	カミキリムシ科	コゲチャヒラタカミキリ	<i>Eurypoda unicolor unicolor</i> Hayashi 24、VII、2015 大森岳
152	カミキリムシ科	ウスバカミキリ	<i>Megopis sinica sinica</i> White 1、VIII、2015 大森岳
153	カミキリムシ科	ホンドニセハイイロハナカミキリ	<i>Rhagium femorale</i> N. Ohbayashi 2016、III、5 大森岳
154	カミキリムシ科	ムラサキアオカミキリ	<i>Schwarzerium viridicyaneum</i> Hayashi 29、V、2015 宮崎市下北方 9exs
155	カミキリムシ科	ヒメスギカミキリ	<i>Callidiellum rufipenne</i> (Motschulsky) 1、IV、2015 木城町石河内
156	カミキリムシ科	ケブカトラカミキリ	<i>Hirticlytus comosus</i> (Matsushita) 2016、IV、30 清武町黒坂
157	カミキリムシ科	ベニカミキリ	<i>Purpuricenus temminckii</i> (Guerin-Meneville) 5、IV、2015 木城町石河内
158	カミキリムシ科	シロオビゴマフカミキリ	<i>Falsomesosella gracilior</i> (Bates) 2、V、2015 綾北川
159	カミキリムシ科	カタシロゴマフカミキリ	<i>Mesosa hirsuta hirsuta</i> Bates 15、VIII、2011 大森岳 leg 堤内雄二 16、VIII、2014 大森岳
160	カミキリムシ科	ドウボソカミキリ	<i>Pseudocalamobius japonicus japonicus</i> (Bates) 10、V、2015 綾北川 26、V、2014 大森岳
161	カミキリムシ科	シロスジカミキリ	<i>Batocera lineolata</i> Chevrolat 28、V、2015 宮崎市内海港
162	カミキリムシ科	マルバネコブヒゲカミキリ	<i>Rhodopina integripennis</i> (Bates) 12、V、2015 鰐塚山 2014、10、21 材採集羽化脱出確認
163	カミキリムシ科	ヘリグロリンゴカミキリ	<i>Nupserha marginella</i> (Bates) 6、VII、2015 鰐塚山
164	ハムシ科	カバノキハムシ	<i>Syneta adamsi</i> Baly 2016、V、5 鰐塚山
165	ハムシ科	ヤナギハムシ	<i>Chrysomela vigintipunctata</i> (Scopoli) 25、III、2015 鰐塚山
166	ハムシ科	サシゲトビハムシ	<i>Lipromima minuta</i> (Jacoby) 18、IV、2015 綾北川 (同定生川展覧)
167	ヒゲナガゾウムシ科	キノコヒゲナガゾウムシ	<i>Euparius oculatus oculatus</i> (Sharp) 7、VI、2015 大森岳 多数 24、VI2014 大森岳
168	ヒゲナガゾウムシ科	クロモンフトヒゲナガゾウムシ	<i>Xylinada japonica</i> (Sharp) 29、V2014 大森岳(同定官能健次)
169	ヒゲナガゾウムシ科	オノヒゲナガゾウムシ	<i>Dendrotrogus japonicus</i> Morimoto 15、VI2014 大森岳(同定官能健次)
170	ヒゲナガゾウムシ科	ウンモンヒゲナガゾウムシ	<i>Asemorhinus nebulosus</i> Sharp 25、V、20、VI、24、VI、2014(大森岳(同定官能健次))
171	チョッキリゾウムシ科	オオカミチョッキリ	<i>Involvulus</i> (Cneminvolvulus) <i>lupulus</i> Sawada 29、V、2014 大森岳(同定官能健次) 霧島、屋久島の記録がある

172	チョッキリゾウムシ科	クチブトチョッキリ	<i>Lasiorrhynchites brevirostris</i> (Roelofs) 29、V、2014 大森岳 (同定官能健次)
173	チョッキリゾウムシ科	ルリイクビチョッキリ	<i>Deporaus</i> (<i>Hypodeporaus</i>) <i>mannerheimi</i> (Hummel) 2、V、2014 大森岳 (同定官能健次) 2exs
174	ゾウムシ科	サビクチブトゾウムシ	<i>Canoixus japonicus</i> Roelofs 28、V、2014 大森岳 (同定官能健次)
175	ゾウムシ科	カシワクチブトゾウムシ	<i>Myllocerus griseus</i> Roelofs 2、3、V、2014 大森岳 (同定官能健次)
176	ゾウムシ科	フトノミゾウムシ	<i>Rhynchaenus</i> (<i>Orchestes</i>) <i>excellens</i> (Roelofs) 25、28、29、V、2014 大森岳 (同定官能健次)
177	ゾウムシ科	ムネスジノミゾウムシ	<i>Rhynchaenus</i> (<i>Orchestes</i>) <i>takabayashii</i> (Kono))2、 5、2014 大森岳 (同定官能健次)
178	ゾウムシ科	ユアサハナゾウムシ	<i>Anthonomus yuasai</i> Kono 2、V、2014 大森岳 (同定官能健次)
179	ゾウムシ科	クロシギゾウムシ	<i>Curculio distinguendus</i> (Roelofs) 24、V、2014 大森岳 (同定官能健次)
180	ゾウムシ科	エゾヒメゾウムシ	<i>Baris ezoana</i> Kono 28、V、2014 大森岳 (同定官能健次)
181	ゾウムシ科	キンケツツヒメゾウムシ	<i>Phaenomerus foveipennis</i> (Morimoto) 10、V、2015 綾北川 (同定生川展覧)
182	ゾウムシ科	アマミアカサルゾウムシ 新称アマミオビアカサルゾウムシ	<i>Coeliodes amamianus</i> Yoshitake 25、V、2014 大森岳 (同定官能健次) 九州初記録?
183	ゾウムシ科	ケナガサルゾウムシ	<i>Micrelus excavatus</i> Hustache 3、V、2014 大森岳 (同定官能健次)
184	ゾウムシ科	ツツゾウムシ	<i>Carcilia strigicollis</i> Roelofs 25、V、2014 大森岳 (同定官能健次)
185	ゾウムシ科	ダルマカレキゾウムシ	<i>Trachodes subfasciatus</i> Voss 24、V、2014 大森岳 (同定官能健次)
186	ゾウムシ科	クワノコブコブゾウムシ	<i>Styanax kuwanoi</i> Chujo et Voss 3、V、2014 大森岳 (同定官能健次)
187	ゾウムシ科	コマツノシラホシゾウムシ	<i>Shirahoshizo pini</i> Morimoto 29、V、2014 大森岳 (同定官能健次)
188	ゾウムシ科	オオケブカキクイゾウムシ	<i>Himatium reticulatum</i> (Konishi) 3、V、2014 大森岳 (同定官能健次)
189	オサゾウムシ科	トホシオサゾウムシ	<i>Aplotes roelofsi</i> (Chevrolat) 18、V、2015 宮崎市下北方
190	ナガキクイムシ科	マルオナガキクイムシ	<i>Crossotarsus emancipatus</i> Murayama 2014、VII、25 大森岳
191	クイムシ科	トドマツオオクイムシ	<i>Xyleborus validus</i> Eichhoff 2014、VI、29 大森岳
192	クイムシ科	ミカドクイムシ	<i>Scolytoplatypus mikado</i> Blandford 2014、VI、29 大森岳。

九州大学宮崎演習林の蛾

小松孝寛・木野田毅・岩切康二・堀内湧也

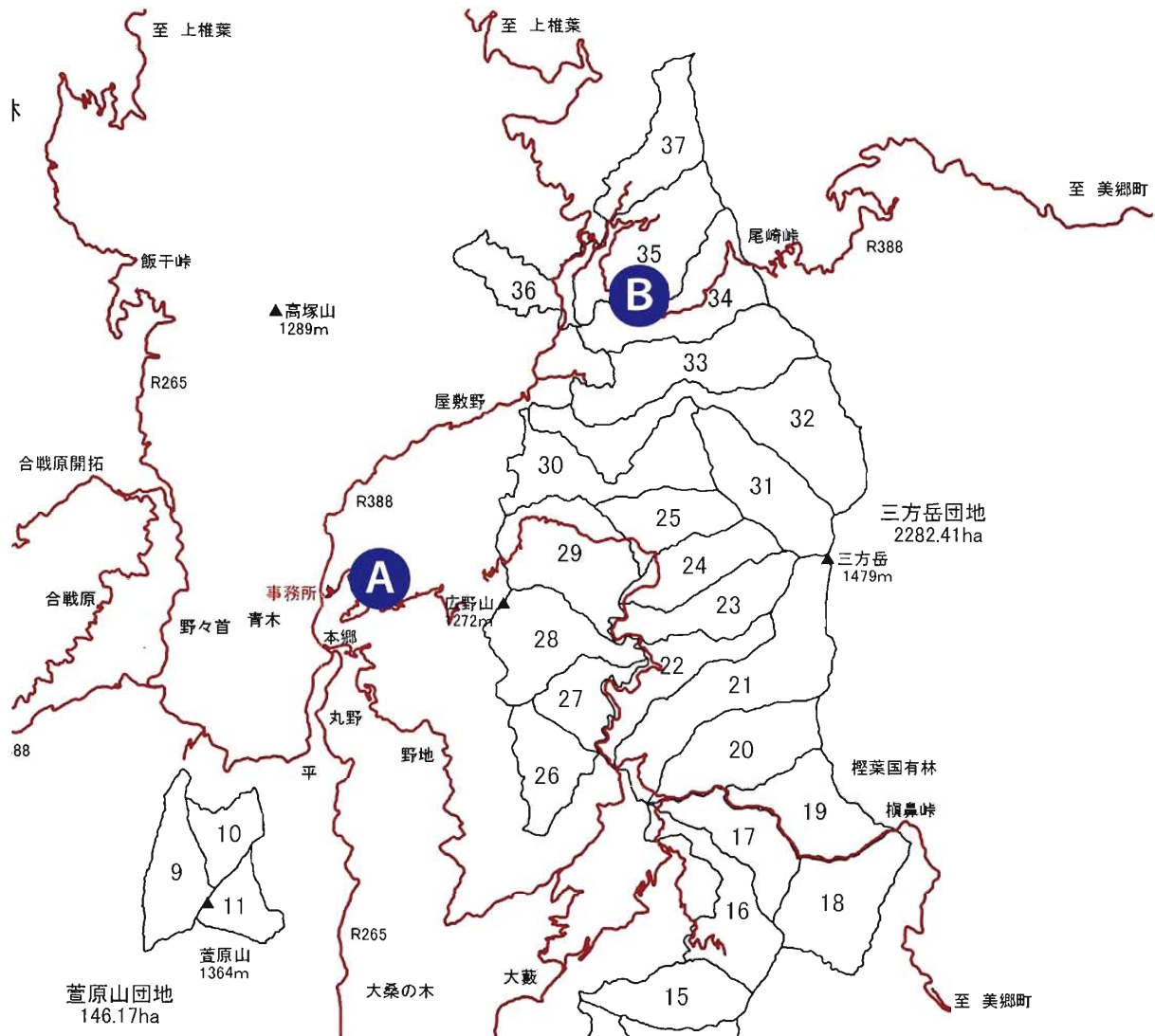
2016年6月、8月と9月に、椎葉村大河内の九州大学宮崎演習林で夜間採集に参加する機会を得た。現地は九州山地の中心にあり、自然林も多く残っている。今回初めて見る種類もあり、楽しい時間を過ごせた。快く採集会への参加を受け入れてくださった九州大学演習林技術班の鍛冶清弘氏、長慶一郎氏、山内康平氏、緒方健人氏と佐々木寛和氏にお礼申し上げる。

夜間採集実施日と採集場所

2016年6月2日 場所A

2016年8月9日 場所A

2016年9月8日 場所B



同定は直ぐに分かるものを除いて堀内が行った。その結果、92種が確認できたが、写真撮影だけのものについては7種が同定不可であった。今回の調査では、宮崎の自然生物(1992)に記載されていない県内では珍しい種類(和名にアンダーラインで示した)も確認できた。

カキガバ科 DREPANIDAE

1. マエキカギバ *Agnidra scabiosa* (Butler, 1877) ; 2.VI.2016
2. オガサワラカギバ *Microblepsis acuminata* (Leech, 1890) ; 8.IX.2016
3. ウスオビカギバ *Sabra harpagula* (Esper, 1786) ; 8.IX.2016
4. オビカギバ *Drepana curvatula* (Borkhausen, 1790) ; 8.IX.2016
5. ウコンカギバ *Ttidrepana crocea* (Leech, 1889) ; 8.IX.2016
6. クロモンカギバ *Callidrepana melanonota* Inoue, 1982 ; 8.IX.2016
7. マダラカギバ *Callicillix abraxata* Butler, 1885 ; 8.IX.2016
8. ヒトツメカギバ *Auzata superba* (Butler, 1878) ; 2.VI.2016, 8.IX.2016
9. ウスギヌカギバ *Macrocilix mysticata* (Walker, 1863) ; 8.IX.2016
10. アシベニカギバ *Oreta pulchripes* Butler, 1877 ; 8.IX.2016
11. オオフトカギバ *Oreta fuscopurpurea* Inoue, 1956 ; 8.IX.2016
12. アカウラカギバ *Hypsomadius insignis* Butler, 1877 ; 8.IX.2016
13. オオマエベニトガリバ *Tethea consimilis* (Warren, 1912) ; 2.VI.2016, 8.IX.2016

アゲハモドキガ科 EPICOPEIIDAE

14. アゲハモドキ (日本本土亜種) *Epicopeia hainesii hainesii* Holland, 1889 ; 8.IX.2016

ツバメガ科 URANIIDAE

15. クロホシフタオ *Dysaethria moza* (Butler, 1878), 1877 ; 2.VI.2016, 8.IX.2016

シャクガ科 GEOMETRIDAE

16. ヒトスジマダラエダシャク *Abraxas latifasciata* Warren, 1894 ; 2.VI.2016, 8.IX.2016
17. ミスジシロエダシャク *Taeniophila unio* (Oberthür, 1880) ; 8.IX.2016
18. ツマキエダシャク *Platycerota incertaria* (Leech, 1891) ; 8.IX.2016
19. ウスオエダシャク *Chiasmia hebesata* (Walker, 1861) ; 8.IX.2016
20. ヒョウモンエダシャク *Arichanna gaschkevitchii* (Motschulsky, 1861) ; 2.VI.2016
21. ナカウスエダシャク *Alcis angulifera* (Butler, 1878) ; 2.VI.2016
22. フタヤマエダシャク *Rikiosatoa grisea* (Butler, 1878) ; 8.IX.2016
23. フトスジエダシャク *Cleora repulsaria* (Walker, 1860) ; 8.IX.2016
24. ヒロバウスアオエダシャク *Paradarisa chloauges* Prout, 1927 ; 8.IX.2016
25. ウスクモエダシャク *Menophra senilis* (Butler, 1878) ; 8.IX.2016
26. ミスジツマキリエダシャク *Xerodes rufescentaria* (Motschulsky, 1861) ; 8.IX.2016
27. ムラサキエダシャク *Selenia tetralunaria* (Hufnagel, 1767) ; 8.IX.2016
28. ツマトビシロエダシャク *Spilopera debilis* (Butler, 1878) ; 8.IX.2016
29. コガタツバメエダシャク *Ourapteryx obtusicauda* (Warren, 1894) ; 2.VI.2016
30. カギシロスジアオシャク *Geometra dieckmanni* Graeser, 1889 ; 2.VI.2016
31. キマエアオシャク *Neohipparchus vallata* (Butler, 1878) ; 8.IX.2016
32. ヒメシロフアオシャク *Eucyclodes infracta* (Wileman, 1911) ; 9.VIII.2016
33. ヨツメアオシャク *Thetidia albocostaria* (Bremer, 1864) ; 8.IX.2016
34. ホソバナミシャク *Tyloptera bella* (Butler, 1878) ; 8.IX.2016
35. キマダラオオナミシャク *Gandaritis fixseni* (Bremer, 1864) ; 2.VI.2016
36. フタマタシロナミシャク *Asthena ochrifasciaria* Leech, 1897 ; 2.VI.2016

カレハガ科 LASIOCAMPIDAE

37. ホシカレハ *Gastropacha populifolia* (Esper, 1783) ; 9.VIII.2016
38. タケカレハ *Euthrix albomaculata* (Bremer, 1861) ; 2.VI.2016, 8.IX.2016
39. リンゴカレハ *Odonestis pruni* (Linnaeus, 1758) ; 8.IX.2016

ヤママユガ科 SATURNIIDAE

40. ヤママユ *Antheraea yamamai* (Guérin-Méneville, 1861) ; 8.IX.2016

スズメガ科 SPHINGIDAE

41. サザミスズメ *Dolbina tancrei* Staudinger, 1887 ; 8.IX.2016
 42. モモミスズメ *Marumba gaschkewitschii* (Bremer & Grey, 1853) ; 9.VIII.2016
 43. クチバミスズメ *Marumba sperchius* (Ménétrières, 1857) ; 9.VIII.2016
 44. ヒサゴスズメ *Mimas christophi* (Staudinger, 1887) ; 2.VI.2016
 45. ウンモンズズメ *Callambulyx tatarinovii* (Brumer & Grey, 1852) ; 9.VIII.2016
 46. クルマスズメ *Ampelophaga rubiginosa* Brumer & Grey, 1853 ; 9.VIII.2016
 47. コスズメ *Theretra japonica* (Boisduval, 1869) ; 9.VIII.2016
 シャチホコガ科 NOTODONTIDA
 48. アオバシャチホコ *Zaranga permagna* (Butler, 1881) ; 8.IX.2016
 49. ウスイロギンモンシャチホコ *Taeniophila unio* (Oberthür, 1880) ; 2.VI.2016
 50. シャチホコガ *Stauropus fagi* (Linnaeus, 1758) ; 2.VI.2016
 51. ツマジロシャチホコ *Hexafrenum leucodera* (Staudinger, 1892) ; 8.IX.2016
 52. カエデシャチホコ *Semidonta biloba* (Oberthür, 1880) ; 8.IX.2016
 53. タテスジシャチホコ *Togepteryx velutina* (Oberthür, 1880) ; 8.IX.2016
 54. セダカシャチホコ *Taeniophila unio* (Oberthür, 1880) ; 9.VIII.2016
 55. プライヤアオシャチホコ *Syntypistis pryeri* (Leech, 1899) ; 2.VI.2016
 56. ナチアオシャチホコ *Syntypistis nachiensis* (Marumo, 1920) ; 8.IX.2016
 ドクガ科 LYMANTRIIDAE
 57. リンゴドクガ *Calliteara pseudabietis* Butler, 1885 ; 8.IX.2016
 58. スカシドクガ *Arctornis kumatai* Inoue, 1956 ; 8.IX.2016
 59. シロオビドクガ *Numenes albofascia* (Leech, 1889) ; 9.VIII.2016, 8.IX.2016
 60. キドクガ *Kidokuga piperita* (Oberthür, 1880) ; 8.IX.2016
 ヒトリガ科 ARCTIIDAE
 61. ムジホソバ *Eilema deplena* (Esper, 1787) ; 2.VI.2016, 8.IX.2016
 62. ヒメキホソバ *Dolgoma cribrata* (Staudinger, 1887) ; 2.VI.2016
 63. キマエクロホソバ *Ghoria collitoides* Butler, 1885 ; 8.IX.2016
 64. ヨツボシホソバ *Lithosia quadra* (Linnaeus, 1758) ; 8.IX.2016
 65. アカスジシロコケガ *Cyana hamata* (Walker, 1854) ; 8.IX.2016
 66. ベニヘリコケガ *Mitochrista miniata* (Forster, 1771) ; 8.IX.2016
 67. ベニシタヒトリ *Rhyparioides nebulosa* Butler, 1877 ; 2.VI.2016
 68. スジモンヒトリ *Spilarctia seriatopunctata* (Motschulsky, 1861) ; 2.VI.2016, 8.IX.2016
 コブガ科 NOLIDAE
 69. アミメリング *Sinna extrema* (Walker, 1854) ; 8.IX.2016
 70. ナンキンキノカワガ *Gadirtha impingens* Walker, 1857 ; 8.IX.2016
 ヤガ科 NOCTUIDAE
 71. ウスオビヒメアツバ *Schrankia masuii* Inoue, 1979 ; 8.IX.2016
 72. ウスベニコヤガ *Sophta subrosea* (Butler, 1881) ; 2.VI.2016
 73. ウスモイロアツバ *Olulis ayumiae* Sugi, 1982 ; 8.IX.2016
 74. ウスグロアツバ *Traudinges fumosa* (Butler, 1879) ; 2.VI.2016
 75. アケビコノハ *Eudocima tyrannus* (Guenée, 1852) ; 8.IX.2016
 76. ウスイロキシタバ *Catocala intacta* Leech, 1889 ; 8.IX.2016
 77. ウンモンクチバ *Mocis annetta* (Butler, 1878) ; 8.IX.2016
 78. ネジロコヤガ *Maliattha chalcogramma* (Bryk, 1949) ; 8.IX.2016
 79. フタホシコヤガ *Micardia pulchra* Butler, 1878 ; 8.IX.2016
 80. シロフコヤガ *Protodeltote pygarga* (Hufnagel, 1766) ; 2.VI.2016
 81. ミドリシロモンコヤガ *Koyaga virescens* (Sugi, 1958) ; 2.VI.2016
 82. ネグロヨトウ *Aedia leucomelas* (Linnaeus, 1758) ; 8.IX.2016

83. キクビヒメヨトウ *Prometopus flavicollis* (Leech, 1889) ; 8.IX.2016
 84. アオアカガネヨトウ *Karana laetevirens* (Oberthür, 1884) ; 8.IX.2016
 85. コマエアカシロヨトウ *Leucapamea askoldis* (Oberthür, 1880) ; 8.IX.2016
 86. フタオビキヨトウ *Mythimna turca* (Linnaeus, 1761) ; 8.IX.2016
 87. マダラキヨトウ *Mythimna flavostigma* (Bremer, 1861) ; 2.VI.2016
 88. ハコベヤガ *Xestia kollari* (Lederer, 1853) ; 8.IX.2016

カザリバガ科 COSMOPTERIGIDAE

89. アシブサトガリホソガ *Ashibusa jezoensis* Matsumura, 1931 ; 2.VI.2016

マダラガ科 ZYGAENIDAE

90. オキナワルリチラシ *Eterusia aedea* (Linnaeus, 1763) ; 8.IX.2016

ハマキガ科 TORTRICIDAE

91. カタカケハマキ *Archips capsigerana* (Kennel, 1901) ; 8.IX.2016

92. ウストビハマキ *Pandemis chlorograpti* Meyrick, 1931 ; 2.VI.2016

93. ヨモギネムシガ *Epiblema foenella* (Linnaeus, 1758) ; 2.VI.2016

ツトガ科 CRAMBIDAE

94. ウスムラサキクルマメイガ *Hemiscopis cinerea* Warren, 1892 ; 2.VI.2016

95. クロズノメイガ *Goniorhynchus exemplaris* Hampson, 1898 ; 2.VI.2016

96. ホソミスジノメイガ *Pleuroptya chlorophanta* (Butler, 1878) ; 2.VI.2016



1. マエキカキハ



2. オカサワラカキハ



3. ウソビカキハ



4. オビカキハ



5. ウコンカキハ



6. クロモンカキハ



7. マダラアキハ



8. ヒツメカキハ



9. ウスキヌカキハ



10. アシベニカキハ



11. オオフトカキハ



12. アカウラカキハ



13. オオマエヘニトカリハ



14. アゲハモトキ



15. クロシフタオ



16. ヒトスジマダラエタシヤク



17. ミスシイロエタシヤク



18. ツマキエタシヤク



19. ウソエタシヤク



20. ヒヨウモンエタシヤク



21. ナカウスエタシヤク



22. フタヤマエタシヤク



23. フトスジエタシヤク



24. ヒロハウスアエタシヤク



25. ウスクモエタシヤク



26. ミスジツマキリエタギシヤク



27. ムラサキエタギシヤク



28. ツマトビシロエタギシヤク



29. コカヅバメエタギシヤク



30. カキシロスシオシヤク



31. キマエオシヤク



32. ヒメシロエタギシヤク



33. ヨツメオシヤク



34. ホソバナミシヤク



35. キマタラオオナミシヤク



36. フタマタシロナミシヤク



37. ホシカレハ



38. タケカレハ



39. リンゴカレハ



40. ヤマユカギ



41. ササナミスズメ



42. モモスズメ



43. クチハスズメ



44. ヒサコスズメ



45. ウンモンスズメ



46. クルマスズメ



47. コスズメ



48. アオハシヤチホコ



49. ウスイロキンモンシヤチホコ



50. シヤチホコカギ



51. ツマシロシヤチホコ



52. カエテシヤチホコ



53. タテスジシヤチホコ



54. セダカシヤチホコ



55. フライアエオシヤチホコ



56. ナチアオシヤチホコ



57. リンゴトクカ



58. スカシトクカ



59. シロオビトクカ



60. キトクカ



61. ムジホソハ



62. ヒメキホソハ



63. キマエクロホソハ



64. ヨツボシホソハ ♀



64. ヨツボシホソハ ♂



65. アカシシロコケカ



66. ヘニハリコケカ



67. ヘニシタヒトリ



68. スジモンヒトリ



69. アミリンカ



70. ナンキンキノカワカ



71. ウスオビヒメアツハ



72. ウスヘニコヤカ



73. ウスモイロアツハ



74. ウスクロアツハ



75. アケビコノハ



76. ウスイロキシタバ



77. ウンモンチタバ



78. ネジロコヤカ



79. フタホシコヤカ



80. シロフコヤカ



81. ミドリシロモンコヤカ



82. ネクロヨトウ



83. キクビヒメヨトウ



84. アオアカカネヨトウ



85. コマエアカシヨトウ



86. フタオビキヨトウ



87. マダラキヨトウ



88. ハコベヤカ



89. アシフサトカリホソカ



90. オキナワリチラス



91. カタケハマキ



92. ウストビハマキ



93. ヨモギネムシカ



94. ウスマラサキルマメイカ



95. クロスノメイカ



96. ホソミスジノメイカ

参考文献

永井 廬・朝日延太郎, 1992. 宮崎の蛾. 宮崎県高等学校教育研究会理科・生物部会, 宮崎県の生物, pp.211-239.

鈺脈社, 宮崎

(こまつ たかひろ:宮崎市本郷北方2479-23)

(きのだ たけし :都城市高城町穂満坊350-3)

(いわきり こうじ:宮崎市大塚台西3-40-10)

(ほりうち ゆうや:都城市立野町3716-13)

九州大学宮崎演習林のカメムシ

小松孝寛

(宮崎市本郷北方 2479-23:〒885-0925)

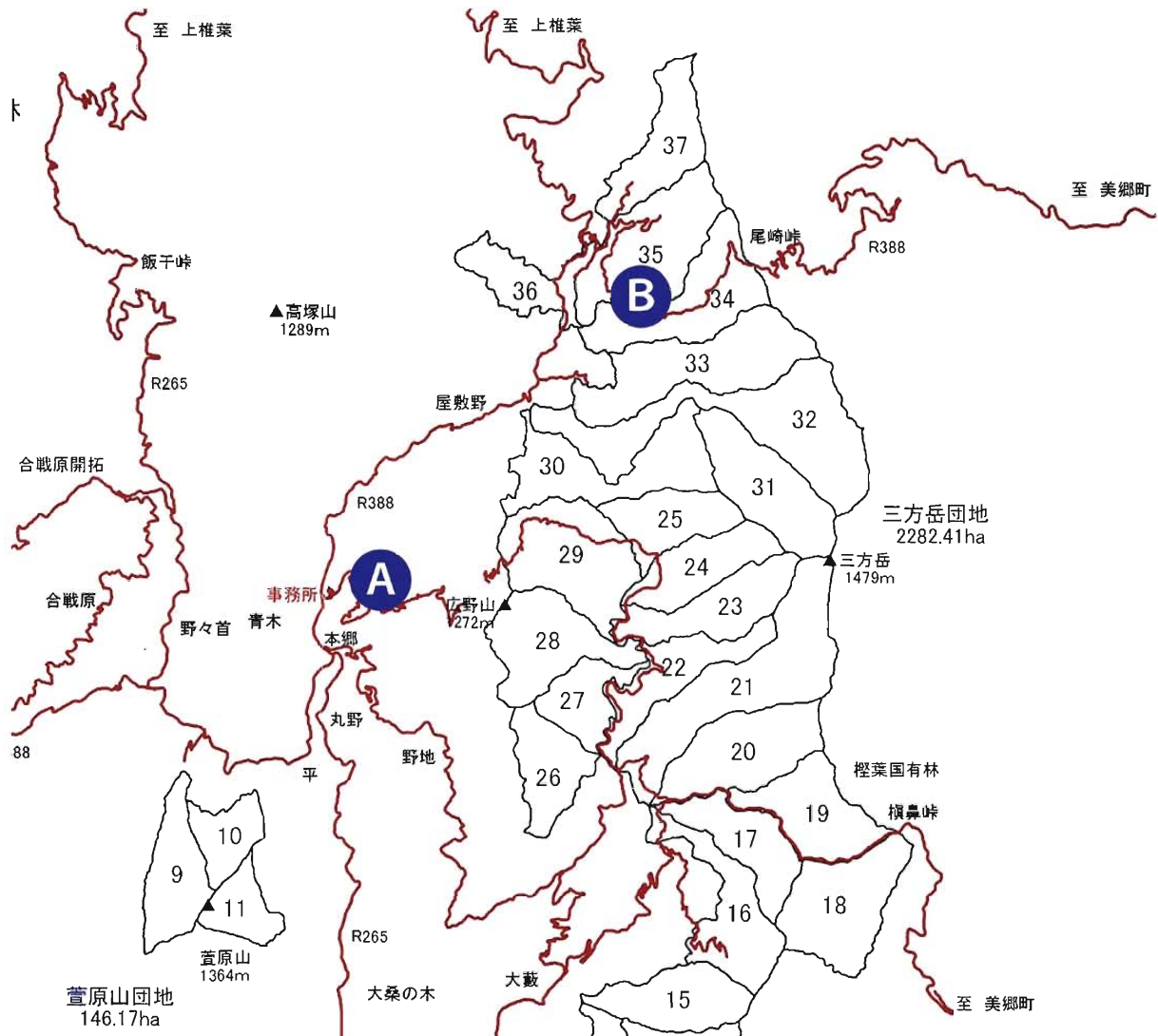
2016年6月、8月と9月に、椎葉村大河内の九州大学宮崎演習林で夜間採集に参加する機会を得た。現地は九州山地の中心にあり、自然林も多く残っている。今回初めて見る種類もあり、楽しい時間を過ごせた。快く採集会への参加を受け入れてくださった九州大学演習林技術班の鍛冶清弘氏、長慶一郎氏、山内康平氏、緒方健人氏と佐々木寛和氏にお礼申し上げる。

夜間採集実施日と宮崎昆虫同好会からの参加者、および採集場所

2016年6月2日 岩切康二，堀内湧也，小松孝寛 場所 A

2016年8月9日 日高謙次，小松孝寛 場所 A

2016年9月8日 木野田 毅，小松孝寛 場所 B



記録には、夜間採集実施日と翌日に確認したものも含めた。合計すると、3回の夜間採集とその前後の調査で52種類の陸生カメムシを確認できた。既に別に報告したが(小松 2016)、このうち、オオツヤナガカメムシ、ヒメアオモンツノカメムシ、オオクロヒョウタンカスミカメとウスモンオオマダラカスミカメは宮崎県初記録の個体であった。

ヒラタカメムシ科 Aradidae

1. ヒメヒラタカメムシ *Aneurus(Neaneurus) macrotylus* Jakovlev, 1880

1♀, 東臼杵郡椎葉村大河内越三方岳登山口付近, 3.VI.2016

ヒョウタンナガカメムシ科 Rhyparochromidae

2. オオツヤナガカメムシ *Lamproplax majuscula* Kerzhner, 1977

1♀, 東臼杵郡椎葉村大河内槇鼻峠付近, 2.VI.2016

3. オオチャイロナガカメムシ *Neolethaeus assamensis* (Distant, 1901)

1♂1♀, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 A), 9.VIII.2016

4. チャイロナガカメムシ *Neolethaeus dallasi* (Scott, 1874)

1♂2♀, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 A), 9.VIII.2016

5. キベリヒョウタンナガカメムシ *Horridipamera lateralis* (Scott, 1874)

1♂1♀, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 A), 9.VIII.2016

6. イチゴチビナガカメムシ *Stigmatonotum geniculatum* (Motschulsky, 1863)

1♀, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 A), 9.VIII.2016

7. コバネヒョウタンナガカメムシ *Togo hemipterus* (Scott, 1874)

2♂, 東臼杵郡椎葉村大河内槇鼻峠付近, 2.VI.2016; 1♀, 東臼杵郡椎葉村大河内槇鼻峠付近, 10.VIII.2016

8. チャイロホソナガカメムシ *Prosomoeus brunneus* Scott, 1874

1♂1♀1 終齢幼虫, 東臼杵郡椎葉村大河内越三方岳登山口付近, 3.VI.2016; 1♀, 東臼杵郡椎葉村大河内槇鼻峠付近, 10.VIII.2016

マダラナガカメムシ科 Lygaeidae

9. *Pylorgus* sp. (ヤスマツナガカメムシ or イシハラナガカメムシ)

1♂2♀, 東臼杵郡椎葉村大河内越三方岳登山口付近, 3.VI.2016; 1♂, 東臼杵郡椎葉村大河内槇鼻峠付近, 10.VIII.2016

ホソメダカナガカメムシ科 Ninidae

10. ホソメダカナガカメムシ *Ninomimus flavipes* (Matsumura, 1913)

1♂1♀, 東臼杵郡椎葉村大河内槇鼻峠付近, 2.VI.2016

メダカナガカメムシ科 Malcidae

11. メダカナガカメムシ *Chauliops fallax* Scott, 1874

1♀, 東臼杵郡椎葉村大河内九大宮崎演習林事務所付近, 8.IX.2016

オオホシカメムシ科 Largidae

12. オオホシカメムシ *Physopelta gutta* (Brumeister, 1834)

1♀, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 B), 8.IX.2016

ホシカメムシ科 Pyrrhocoridae

13. ヒメホシカメムシ *Physopelta parviceps* Blöte, 1931

2♀, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 A), 9.VIII.2016

ヘリカメムシ科 Coreidae

14. ツマキヘリカメムシ *Hygia(Colpura) opaca* (Uhler, 1860)

1♀, 東臼杵郡椎葉村大河内槇鼻峠付近, 2.VI.2016

15. オオクモヘリカメムシ *Homoeocerus (Anacanthocoris) striicornis* Scott, 1874

2♂, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 A), 9.VIII.2016; 1♂1♀, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 B), 8.IX.2016

16. ホシハラビロヘリカメムシ *Homoeocerus (Tliponius) unipunctatus* (Thunberg, 1783)

1♂, 東臼杵郡椎葉村大河内九大宮崎演習林事務所付近, 8.IX.2016

クヌギカメムシ科 Urostylididae

17. ナシカメムシ *Urochela luteovaria* Distant, 1881

1 終齢幼虫, 東臼杵郡椎葉村大河内越三方岳登山口付近, 3.VI.2016

18. ヨツモンカメムシ *Urochela quadrinotata* (Reuter, 1881)
1♀, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 A), 2.VI.2016
19. ヘラクヌギカメムシ *Urostylis annulicornis* Scott, 1874
1♀, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 A), 9.VIII.2016; 1♀, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 B), 8.IX.2016
20. サジクヌギカメムシ *Urostylis stricornis* Scott, 1874
1♀, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 B), 8.IX.2016
マルカメムシ科 **Plataspidae**
21. マルカメムシ *Megacopta punctatissima* (Montandon, 1896)
1♂, 東臼杵郡椎葉村大河内九大宮崎演習林事務所付近, 9.IX.2016
ツチカメムシ科 **Cydnidae**
22. ヒメツチカメムシ *Fromundus pygmaeus* (Dallas, 1851)
2♂4♀, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 A), 9.VIII.2016
23. コツチカメムシ *Macroscytus fraterculus* Horváth, 1919
1♀, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 A), 9.VIII.2016
24. フタボシツチカメムシ *Adomerus rotundus* (Hsiao, 1977)
1♀, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 A), 9.VIII.2016
25. ベニツチカメムシ *Parastrachia japonensis* (Scott, 1880)
1♀, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 A), 2.VI.2016
カメムシ科 **Pentatomidae**
26. エゾアオカメムシ *Palomena angulosa* (Motschulsky, 1861)
1♂, 東臼杵郡椎葉村大河内槇鼻峠付近, 10.VIII.2016
27. ツノアオカメムシ *Pentatoma japonica* (Distant, 1882)
1♂2♀, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 B), 8.IX.2016
ツノカメムシ科 **Acanthosomatidae**
28. ハサミツノカメムシ *Acanthosoma labiduroides* Jakovlev, 1880
1♀, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 A), 9.VIII.2016
29. ヒメアオモンツノカメムシ *Elasmostethus rotundus* Yamamoto, 2003
3♂2♀, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 B), 8.IX.2016
30. ヒメツノカメムシ *Elasmucha putoni* Scott, 1874
1♀, 東臼杵郡椎葉村大河内槇鼻峠付近, 10.VIII.2016
31. セグロヒメツノカメムシ *Elasmucha signoreti* Scott, 1874
1♂, 東臼杵郡椎葉村大河内槇鼻峠付近, 9.VIII.2016; 1♀, 東臼杵郡椎葉村大河内槇鼻峠付近, 10.VIII.2016; 1♀, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 B), 8.IX.2016
32. エサキモンキツノカメムシ *Sastragala esakii* Hasegawa, 1959
2♂, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 A), 9.VIII.2016
33. モンキツノカメムシ *Sastragala scutellata* (Scott, 1874)
1♂4♀, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 B), 8.IX.2016
カスミカメムシ科 **Miridae**
34. マツトビカスミカメ *Kasumiphylus kyushuensis* (Linnavuori, 1961)
1♀, 東臼杵郡椎葉村大河内槇鼻峠付近, 10.VIII.2016; 1♂, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 B), 8.IX.2016
35. オオクロヒョウタンカスミカメ *Pilophorus niger* Poppius, 1914
1♂, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 B), 8.IX.2016
36. ヒイロオオモンキカスミカメ *Deraeocoris erythromelas* Yasunaga et Nakatani, 1998
1♂2♀1 終齢幼虫, 東臼杵郡椎葉村大河内吐野々, 3.VI.2016
37. ウスモンカスミカメ *Adelphocoris demissus* Horváth, 1905

- 1♂, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 A), 9.VIII.2016
38. ナカグロカスミカメ *Adelphocoris suturalis* (Jakovlev, 1882)
1♂, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 A), 9.VIII.2016
39. コアカソカスミカメ *Apolygus subpulchellus* (Kerzhner, 1988)
3♀, 東臼杵郡椎葉村大河内槇鼻峠付近, 10.VIII.2016
40. ツマグロハギカスミカメ *Apolygus subpulchellus* (Kerzhner, 1988)
3♂4♀, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 A), 9.VIII.2016 ; 1♂1♀, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 B), 8.IX.2016
41. ツヤマルカスミカメ属の複数種 *Apolygus* spp.
1♂3♀, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 A), 9.VIII.2016 ; 1♀, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 B), 8.IX.2016
42. ヨツボシカスミカメ *Bertsia lankana* (Kirby, 1891)
2♀, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 A), 9.VIII.2016
43. メンガタカスミカメ *Eurystylus coelestialium* (Kirkaldy, 1902)
1♀, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 A), 9.VIII.2016
44. アカスジオオカスミカメ *Gigantomiris jupiter* Miyamoto et Yasunaga, 1988
1♂1♀, 東臼杵郡椎葉村大河内槇鼻峠付近, 2.VI.2016
45. ミドリカスミカメ属の複数種 *Neolygus* spp.
1♀, 東臼杵郡椎葉村大河内槇鼻峠付近, 2.VI.2016 ; 2♂, 東臼杵郡椎葉村大河内越三方岳登山口付近, 3.VI.2016 ; 5♂7♀, 東臼杵郡椎葉村大河内槇鼻峠付近, 10.VIII.2016
46. オオクロカスミカメ *Orientocapsus aquilus* Yasunaga et Schwartz, 2007
1♀, 東臼杵郡椎葉村大河内越三方岳登山口付近, 3.VI.2016
47. オオチャイロカスミカメ *Orientomiris tricolor* (Scott, 1880)
2♀, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 B), 8.IX.2016
48. オオマダラカスミカメ *Phytocoris ohataensis* Linnavuori, 1963
6♂ (黒化型), 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 A), 2.VI.2016 ; 2♂1♀ (黒化型), 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 A), 9.VIII.2016 ; 1♀, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 B), 8.IX.2016
49. ウスモンオオマダラカスミカメ *Phytocoris pallidicollis* Kerzhner, 1977
2♂2♀, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 A), 2.VI.2016 ; 1♀, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 B), 8.IX.2016
50. ケブカカスミカメ *Tingitotum perlatum* Linnavuori, 1961
1♀, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 A), 9.VIII.2016 ; 1♂3♀, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 B), 8.IX.2016
51. フタトゲムギカスミカメ *Stenodema (Brachystira) calcarata* (Fallén, 1807)
2♂, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 A), 2.VI.2016
52. ベニナガムギカスミカメ *Stenodema (Stenodema) longula* Zheng, 1981
1♂, 東臼杵郡椎葉村大河内 (場所 A), 2.VI.2016
- サシガメ科 **Reduviidae**
53. ヤニサシガメ *Velinus nodipes* (Uhler, 1860)
1♂, 東臼杵郡椎葉村大河内尾崎, 3.VI.2016

引用文献

小松孝寛, 2016. 宮崎県の陸生カメムシ. 139pp. 黒潮文庫, 宮崎.

崎市本郷北方 2 4 7 9 - 2 3



1. ヒメヒラタカメムシ



2. オオツヤナガカメムシ



7. コバネナガカメムシ



8. チャイロホソナガカメムシ



9. *Pylorgus* sp.



15. オオクモヘリカメムシ



19. ヘラクヌギカメムシ



20. サジクヌギカメムシ



22. ヒメツチカメムシ



24. フタボシツチカメムシ



25. ベニツチカメムシ



27. ツノアオカメムシ



29. ヒメアオモンツノカメムシ



30. ヒメツノカメムシ



31. セグロヒメツノカメムシ



33. モンキツノカメムシ



35. オオクロヒョウタンカスミカメ



36. ヒイロオオモンキカスミカメ



37. ウスモンカスミカメ



40. ツマグロハギカスミカメ



41. *Apolygus* sp.



45. *Neolygus* sp.



45. *Neolygus* sp.



46. オオクロカスミカメ



47. オオチャイロカスミカメ



48. オオマダラカスミカメ



48. オオマダラカスミカメ (黒化型)



49. ウスモンオオマダラカスミカメ



52. ベニナガムギカスミカメ



53. ヤニサシガメ

九州大学宮崎演習林の甲虫

木野田毅

(都城市高城町穂満坊 350-3 : 〒885-1202)

2016年6月、8月と9月に、椎葉村大河内の九州大学宮崎演習林で夜間採集に参加する機会を得た。筆者は9月8日のみの参加となったが、6月2日には、岩切康二氏、小松孝寛氏、掘内湧也氏が、8月9日には、小松氏と日高謙次氏が参加している。

今回、都城市から人吉市、国道388号で湯山峠を越えて、大河内に入った。16時30分ころ、湯山峠の手前で、全面通行止めの看板があり、とても驚いたが、車が数台待っていたので、その先の看板を見たところ「17時～翌朝7時まで通行可」とあり、ほっとした。しばらくして工事現場の車両が下ってきて、ゲートが開き、通行できた。

今回の調査に参加させていただきました、九州大学宮崎演習林技術班の皆様にご心より感謝申し上げます。

採集場所については、小松氏が報告されている本誌19頁「九州大学宮崎演習林のカメムシ」を参照して下さい。

(6月の記録、採集者は全て小松孝寛氏)

- | | | |
|---|--------------------|-----------------|
| 1 | スジアオゴミムシ | 6月3日 (場所A) |
| 2 | クロツヤツノツツハネカクシ | 6月3日 (三方岳登山口付近) |
| 3 | ツノクロツヤムシ | 6月3日 (三方岳登山口付近) |
| 4 | ヨツボシゴミムシダマシ | 6月3日 (三方岳登山口付近) |
| 5 | アカハネムシ | 6月3日 (三方岳登山口付近) |
| 6 | キバネカミキリモドキ | 6月3日 (場所A) |
| 7 | キュウシュウヘリグロホソハナカミキリ | 6月2日 (榎鼻峠付近) |
| 8 | カッコウメダカカミキリ | 6月4日 (榎鼻峠付近) |
| 9 | イチモンジカメノコハムシ | 6月4日 (榎鼻峠付近) |

(9月8日の記録、採集者は小松氏、採集地点は、場所B)

- | | | |
|---|---|-----------|
| 1 | シイシギゾウムシ <i>Curculio hilgendorfi</i> (Harold) | 1 ♀ (場所B) |
|---|---|-----------|

(9月8日の記録、採集者は全て筆者、採集地点は、場所B)

- | | | |
|---|---|---------------|
| 1 | ツヤケシビロウドコガネ <i>Serica planifrons</i> Nomura,1972 | 1 ♀ (同定：今坂正一) |
| 2 | コヒゲシマビロウドコガネ <i>Gastroserica brevicornis</i> (Lewis,1895) | 1 ♀ |
| 3 | ナミテントウ <i>Harmonia axyridis</i> (Pallas) | 1 ♂ |
| 4 | コマルキマワリ <i>Amarygmus curvus</i> Marseul,1876 | 1 ex. |
| 5 | シイシギゾウムシ <i>Curculio hilgendorfi</i> (Harold) | 6 ♂ 3 ♀ |

宮崎県の水生昆虫 16種

木野田 毅

(都城市高城町穂満坊 350-3 : 〒885-1202)

このところ、溜池調査がおろそかになっていると感じていた。ちょうどそのようなタイミングで、岩崎郁雄氏と調査に行くことになった。2016年10月10日と15日の記録である。

久しぶりに宮崎市や国富町の溜池を訪れ、「宮崎東諸県の生物(1995)」と同じ地点での採集も試みたが、十分な結果は得られなかった。農業を取り巻く環境の変化は溜池の様子を変えつつあり、毎年しっかりと調査をしていく必要性を感じた。

案内をしていただき、かつ、溜池の採集ポイントについても貴重なアドバイスをいただいた岩崎氏には紙面を借りてお礼申し上げます。

コガシラミズムシ科 Haliplidae

1 キイロコガシラミズムシ *Haliphus eximus* Clark

1 ex.,宮崎市佐土原町上田島・仲間原・開地田(4831-0353), 15.X.2016

コツブゲンゴロウ科 Noteridae

2 コツブゲンゴロウ *Noterus japonicus* Sharp,1873

5♂6♀,宮崎市高岡町堤内溜池群(4731-7247), 10.X.2016

ゲンゴロウ科 Dytiscidae

3 ケシゲンゴロウ *Hyphidrus japonicus* Sharp,1873

1 5 exs.,宮崎市佐土原町上田島・仲間原・開地田(4831-0353), 15.X.2016

4 シャープツブゲンゴロウ *Laccophilus sharpi* Régimbart

2 exs.,宮崎市佐土原町上田島・仲間原・開地田(4831-0353), 15.X.2016

5 セスジゲンゴロウ *Copelatus japonicus* Sharp,1873

6♂10♀,国富町田尻・本庄川河川敷(4731-7284), 10.X.2016

6 マメゲンゴロウ *Agabus japonicus* Sharp,1873

1♀,宮崎市高岡町堤内溜池群(4731-7247), 10.X.2016

7 ヒメゲンゴロウ *Rhantus suturalis* (Macleay,1825)

3♀,宮崎市高岡町堤内溜池群(4731-7247), 10.X.2016 ; 3♂7♀,宮崎市佐土原町上田島・仲間原・開地田(4831-0353), 15.X.2016

8 シマゲンゴロウ *Hydaticus bowringi* Clark,1864

1♂2♀,宮崎市佐土原町上田島・仲間原・開地田(4831-0353), 15.X.2016

9 ウスイロシマゲンゴロウ *Hydaticus rhantoides* Sharp,1882

2♂,宮崎市高岡町堤内溜池群(4731-7247), 10.X.2016 ; 1♀,宮崎市高岡町倉本2号池(4731-7236), 10.X.2016 ; 1♀,宮崎市富吉・大戸迫池(4731-7229), 15.X.2016

10 コガタノゲンゴロウ *Cybister tripunctatus orientalis* Gschwendther,1931

1♂1♀,国富町田尻・本庄川河川敷(4731-7284), 10.X.2016 ; 2♀,宮崎市佐土原町上田島・仲間原・開地田(4831-0353), 15.X.2016 ; 1♀,宮崎市富吉・大戸迫池(4731-7229), 15.X.2016

ガムシ科 Hydrophilidae

11 キベリヒラタガムシ *Enochrus japonicus* (Sharp)

1 ex.,宮崎市高岡町倉本2号池(4731-7236), 10.X.2016

1 2 ヒメガムシ *Sternolophus rufipes* (Fabricius)

1 ex.,宮崎市高岡町堤内溜池群(4731-7247), 10.X.2016 ; 2 exs.,国富町田尻・本庄川河川敷(4731-7284), 10.X.2016 ; 2 exs.,宮崎市富吉・大戸迫池(4831-7229), 15.X.2016

1 3 トゲバゴマフガムシ *Berosus lewisius* Sharp

2 exs.,国富町田尻・本庄川河川敷(4731-7284), 10.X.2016

タイコウチ科 Nepidae

1 4 タイコウチ *Laccotrephes japonensis* Scott

3 exs.,宮崎市佐土原町上田島・仲間原・開地田(4831-0353), 15.X.2016

1 5 ミズカマキリ *Ranatra chinensis* Mayer

1 ex.,国富町田尻・本庄川河川敷(4731-7284), 10.X.2016 ; 1 ex.,宮崎市佐土原町上田島・仲間原・開地田(4831-0353), 15.X.2016

マツモムシ科 Notonectidae

1 6 マツモムシ *Notonecta triguttata* Motschulsky

1 ex.,宮崎市佐土原町上田島・仲間原・開地田(4831-0353), 15.X.2016

オオチャイロハナムグリを採集

日 高 謙 次

(宮崎市下北方 大淀川学習館：〒880-0035)

2015年、宮崎県東諸県郡国富町式部岳にてコガネムシ科の幼虫5頭を採集、自宅にて飼育していたところ、今年5頭全てが羽化しオオチャイロハナムグリであることが判明した。

雌雄の判別はできなかったが、オスと思われる個体からは良い匂いの芳香がした。

その後、産卵～孵化を経て大淀川学習館にて30頭ほど終齢幼虫を飼育している。



宮崎県のハネカクシ科 38 種

木野田 毅

(都城市高城町穂満坊 350-3 : 〒885-1202)

2016 年に、これまで採り溜めていたハネカクシ科 (Staphylinidae) 標本を渡辺崇氏に見てもらった機会をいただきました。笹岡康則氏には、採集品を預かっていながら同定が遅延として進まなかったことをここにお詫びし、筆者採集のものと合わせてここに報告します。笹岡氏採集のものは、笹 leg. と記し、それ以外は筆者の採集です。同定は、特に記していないものは渡辺氏に同定していただいたものです。

同定をしていただきました渡辺崇氏、直海俊一郎氏に感謝申し上げます。

ハネカクシ科の和名と学名については、「日本産ハネカクシ科総目録」(九州大学総合研究博物館研究報告, 2013-03) に従っています。和名の横の () は、2013 年以前に使われていた和名を表示しました。

- 1 ルイスオオヒラタハネカクシ (オオヒラタハネカクシ) *Piestoneus lewisii* Sharp, 1889
1 7 exs., 北方町鬼の目山, 6.III.1988 ; 5 exs., 北川町大崩山, 13.V.1995 ; 1 ex., 西都市掃部岳 (4831-1166), 23.XII.2009
- 2 オオハラオオヒラタハネカクシ *Piestoneus oharai* Naomi, 1995
1 ex., 北川町大崩山, 13.V.1995
- 3 オオウスバツツハネカクシ (オオウスバハネカクシ) *Eleusis coarctata* Sharp, 1889
1 ex., 北川町大崩山, 13.V.1995
- 4 クロツヤツノツツハネカクシ (クロツヤハネカクシ) *Priochirus japonicus* Sharp, 1889
2 exs., 西都市前川林道 (4831-1131), 25.IV.2010, 笹 leg. ; 1 ex., 綾町大森岳林道 (4831-0146), 30.IV.2011, 笹 leg. ; 1 ex., 同, 4.VI.2011, 笹 leg. ; 1 ex., 国富町茶臼岳林道 (4831-1109), 19.V.2011, 笹 leg. (本種の同定は木野田。)
- 5 ユミセミゾハネカクシ *Thinodromus sericatus* sharp, 1889
1 ex., 延岡市大貫町, 18.IX.1984 ; 3 exs., 北川町上祝子小岩屋, 21.VII.1993
- 6 ニセユミセミゾハネカクシ *Carpelimus vagus* Sharp, 1889
1 ex., 延岡市大貫町, 4.VII.1984
- 7 ツノフトツツハネカクシ *Osorius taurus* Sharp, 1889
1 ex., 日之影町見立溪谷, 17.V.1987 ; 1 ex., 宮崎市下北方町池内 (4731-7353), 21.VI.2009 笹 leg. ; 1 ex., 宮崎市曾山寺・知福川 (4731-5365), 12.VI.2010, 笹 leg. ; 2 exs., 日南市酒谷 (4731-3261), 1.VIII.2010, 笹 leg. (本種の同定は木野田。)
- 8 ヒメオオキバハネカクシ *Oxyporus basicornis* Cameron, 1930
1 ex., 綾町大森岳林道 (4831-0146), 14.V.2011, 笹 leg. ; 1 ex., 同, 18.V.2012, 笹 leg.
- 9 アカバクビブトハネカクシ *Pinophilus rufipennis* Sharp, 1874
1 ex., 延岡市大貫町, 23.VI.1987 ; 1 ex., 同, 3.VII.1987 ; 1 ex., 同, 7.VI.1988 ; 1 ex., 延岡市西階町金堂ヶ池, 12.VII.1988 ; 1 ex., 宮崎市高岡町穆佐 (4731-7225), 15.VIII.2009, 笹 leg.
- 10 ルイスクビブトハネカクシ *Pinophilus lewisii* Sharp, 1874
1 ex., 木城町石河内 (4831-2363), 17.VIII.2009, 笹 leg.
- 11 オオクビブトハネカクシ *Pinophilus punctatissimus* Sharp, 1889
1 ex., 宮崎市高岡町穆佐 (4731-7216), 14.VIII.2008, 笹 leg. (同定: 木野田) ; 1 ex., 同, 31.VII.2009, 笹 leg. ; 1 ex., 同, 21.VIII.2009, 笹 leg.
- 12 アオバアリガタハネカクシ *Paederus fuscipes* Curtis, 1826

- 1 ex.,延岡市大貫町, 10.III.1991
- 1 3 オオシリグロハネカクシ *Astenus suffuses* Sharp,1874
1 ex.,延岡市小野町, 28.VII.1987
- 1 4 ヒメヒザグロメダカハネカクシ *Stenus disterminus* Puthz
1 ex.,北川町上祝子・大藪, 14.IV.1994 (同定:直海俊一郎)
九州初記録、これまでの分布は、千葉県と静岡県。
- 1 5 マメトガリハネカクシ (クロニセトガリハネカクシ) *Panscopaeus lithocharoides* Sharp,1874
1 ex., 延岡市大貫町, 24.V.1987
- 1 6 ツマアカカワベナガエハネカクシ (ツマアカナガエハネカクシ)
Ochtheophilum kurosai T.Ito,1996
1 ex., 延岡市大貫町, 30.VI.1987 ; 1 ex.,同, 3.VII.1987 ; 1 ex.,宮崎市好隣梅・カブトムシの森(4731-5336), 19.VII.2008, 笹 leg. ; 6 exs.,宮崎市好隣梅・カブトムシの森(4731-5336), 21.VI.2009, 笹 leg. ; 1 ex.,宮崎市高岡町穆佐(4731-7216), 17.VII.2009, 笹 leg. ; 1 ex.,同, 15.VIII.2009, 笹 leg. ; 1 ex.,日南市酒谷(4731-3261), 6.VI.2010, 笹 leg. ; 1 ex.,宮崎市大塚町宮崎西高校(4731-6381), 7.VII.2010, 笹 leg. ; 1 ex.,綾町大森岳林道(4831-0183), 22.VI.2012, 笹 leg.
- 1 7 ツマキツヤナガハネカクシ *Nudobius pleuralis* Sharp,1874
1 ex.,北川町上祝子・巢の津屋, 31.III.1995
- 1 8 キバネナガハネカクシ *Megalinus suffuses* Sharp,1874
1 ex.,北川町上祝子・小岩屋, 29.V.1994
- 1 9 アカバホソハネカクシ *Othius rufipennis* Sharp,1874
1 ex.,延岡市大貫町, 24.V.1987
- 2 0 オオドウガネコガシラハネカクシ *Philonthus lewisius* Sharp,1874
1 ex., 延岡市大貫町, 14.VII.1985 ; 1 ex.,同, 23.VI.1987 ; 1 ex.,同, 3.VII.1987 ; 1 ex.,同, 23.VI.1990 ; 2 exs.,延岡市小野町, 28.VII.1987 ; 1 ex.,北川町上祝子・小岩屋, 19.IX.1995 ; 2 exs.,宮崎市高岡町穆佐(4731-7216), 11.VII.2009, 笹 leg. ; 1 ex.,同(4731-7725), 21.VIII.2009, 笹 leg. ; 1 ex.,同, 22.VIII.2009, 笹 leg. ; 1 ex.,西都市前川林道(4831-1148), 5.VI.2010, 笹 leg.
- 2 1 ヘリアカバコガシラハネカクシ *Philonthus tardus* Kraatz,1859
1 ex.,延岡市愛宕山, 30.V.1987 ; 1 ex.,北川町上祝子・小岩屋, 20.XI.1993 ; 1 ex.,同, 29.V.1994 ; 2 exs.,同, 14.VI.1994 ; 1 ex.,日向市富高, 25.VII.1995 ; 2 exs.,西都市三財(4831-0278), 14.VI.2009, 笹 leg.
- 2 2 キヌコガシラハネカクシ *Philonthus sublucanus* Herman,2001
1 ex.,北川町上祝子・小岩屋, 30.IV.1994
- 2 3 オフィオンホソコガシラハネカクシ *Gabrius ophion* Smetana,1984
1 ♂,綾町大森岳林道(4831-0146), 11.IX.2010, 笹 leg.
- 2 4 タテミゾムネスジハネカクシ (タテミゾツマグロアカバハネカクシ)
Hesperus ornatus Sharp,1889
1 ♂,綾町大森岳林道(4831-0146), 3.IX.2010, 笹 leg.
- 2 5 ツヤケシアカバウミベハネカクシ(ウミベアカバハネカクシ) *Phucobius simulator* Sharp,1874
3 exs.,宮崎市加江田川河口(4731-5376), 19.VII.2009, 笹 leg.
- 2 6 アカバトガリオオズハネカクシ (アカバハネカクシ) *Platydracus brevicornis* Weise,1877
1 ex.,日向市富高, 25.VII.1995 ; 1 ex.,西都市前川林道(4831-1148), 6.IX.2009, 笹 leg. ; 1 ex.,綾町大森岳林道(4831-0146), 23.VIII.2010, 笹 leg. ; 1 ex.,同, 21.V.2011, 笹 leg.
- 2 7 クロトガリオオズハネカクシ (クロガネハネカクシ) *Platydracus inornatus* Sharp,1874
1 ex.,串間市都井岬, 6.X.1991

- 28 ヒメクロトガリオオズハネカクシ *Platydracus brachycerus* Smetana & Davies, 2000
1 ex., 東臼杵郡北郷村中小屋, 18. I. 1988 ; 1 ex., 延岡市神戸町, 8. IV. 1988 ; 1 ex., 川南町遊学の森(4831-2389), 22. V. 2009 ; 1 ex., 綾町大森岳林道(4831-0146), 29. VIII. 2010, 笹 leg. ; 1 ♂, 同, 11. IX. 2010, 笹 leg. ; 1 ex., 同, 19. IX. 2010, 笹 leg. ; 1 ex., 同, 30. IV. 2011, 笹 leg. ; 1 ex., 同, 12. II. 2012, 笹 leg.
- 29 クロサビイロマルズオオハネカクシ *Ocypus lewisius* Sharp, 1874
1 ex., 北川町上祝子・小岩屋(4931-0475), 13. V. 1993 ; 1 ex., 同, 13. VI. 1994
- 30 サビハネカクシ *Ontholestes gracilis* Sharp, 1874
2 exs., 北川町上祝子・小岩屋(4931-0475), 14. VI. 1994 ; 1 ex., 日向市比良町(4831-4499), 12. IX. 1997 ; 1 ex., 綾町大森岳林道(4831-0146), 29. VIII. 2010, 笹 leg.
- 31 ハイイロハネカクシ *Eucibdelus japonicus* Sharp, 1874
1 ex., 西都市三財・寒川(4831-1222), 9. V. 2008, 笹 leg. ; 1 ex., 同, 20. V. 2008, 笹 leg. ; 1 ex., 宮崎市高岡町瓜田ダム(4731-7209), 9. VI. 2010, 笹 leg. ; 1 ex., 綾町大森岳林道(4831-0146), 4. VI. 2011, 笹 leg. ; 1 ♂, 同, 24. VI. 2011, 笹 leg. ; 1 ex., 同, 27. VI. 2011, 笹 leg.
- 32 ツヤケシブチヒゲハネカクシ *Anisolinus elegans* Sharp, 1889
1 ex., 綾町大森岳林道(4831-0146), 15. V. 2011, 笹 leg.
- 33 オオハネカクシ *Creophilus maxillosus* Linnaeus, 1758
1 ex., 北川町上祝子・小岩屋(4931-0475), 16. X. 1995 ; 1 ex., 日向市比良町権現原, 10. IX. 2000
- 34 ムネビロハネカクシ *Algon grandicollis* Sharp, 1874
1 ex., 北川町上祝子・小岩屋(4931-0475), 12. VII. 1995 ; 1 ex., 宮崎市市民の森, 25. VII. 1996
- 35 アカバツヤムネハネカクシ *Quedius japonicus* Sharp, 1874
1 ex., 北川町上祝子・小岩屋(4931-0475), 29. V. 1994
- 36 ヤマトマルクビハネカクシ *Tachinus japonicus* Sharp, 1888
2 exs., 日之影町見立・見立谷入口(4931-1346), 21. X. 2006 ; 1 ex., 綾町大森岳林道(4831-0146), 16. V. 2012, 笹 leg.
- 37 コモンクロアリノスハネカクシ *Zyras optatus* Sharp, 1888
1 ex., 綾町大森岳林道(4831-0146), 9. VI. 2011, 笹 leg.
- 38 コンボウヒゲブトハネカクシ *Tetrabothrus japonicus* Nakane, 1991
1 ex., 延岡市西階町金堂ヶ池, 12. VII. 1988

鱈塚山でクチキウマの仲間を採集

笹岡 康 則

(宮崎市大字島之内 9481 : 〒880-0121)

宮崎市田野町鱈塚山頂上付近において、明暗センサーライト設置の地上FITで本種を採集した。以前、夷森岳標高1000m以上の落葉樹林の朽木割で確認しているが、鱈塚山で2度目の発見となった。

本種は翅が無く飛翔できないため各地域ごとに種類が分かれ、宮崎のクチキウマの正確な種名はわからない。今後専門家の研究をお願いしたい。鱈塚山では朽木割でも確認しており、個体数は多いと思われる。分布確認の報告としたい。

データー 2016年6月3日 クチキウマ s p 3頭 地上FIT

宮崎市のハネカクシ

渡辺 崇

(神奈川県藤沢市本鶴沼 3-7-16: 〒251-0028)

笹岡康則氏の採集品を同定したので、ここに28種を報告します。

採集方法については、Flight Interception Trap は FIT、Light Trap はライトと記しました。

日本産ハネカクシ科総目録(2013)に記載された産地に九州本土がないものを、九州本土新記録としました。

Tachinus japonicus Sharp ヤマトマルクビハネカクシ

1ex., 田野町鰐塚山, 26. V. 2016

Myrmecocephalus sapidus (Sharp) キバネセミゾハネカクシ

1ex., 佐土原町石崎浜, 5. VIII. 2016, ライト

Zyras particornis Sharp シロヒゲアリノスハネカクシ(九州本土新記録)

1ex., 高岡町内山, 6. VII. 2016, ライト; 1ex., 高岡町瓜田ダム, 5. VII. 2016, ライト

Astenus latifrons (Sharp) キアシハラグロハネカクシ

1ex., 高岡町内山, 17. V. 2016

Domene curtipennis Sharp コマルズハネカクシ

1ex., 高岡町内山, 6. VII. 2016, ライト

Medon prolixus (Sharp) ウミベトガリハネカクシ

3exs., 佐土原町石崎浜, 5. VIII. 2016, ライト

Monocrypta pectoralis Sharp アカバナガエハネカクシ

1ex., 高岡町内山, 7. VI. 2016, ライト; 1ex., 高岡町内山, 16. VII. 2016, ライト

Ochtheophilum kurosai Ito ツマアカカワベナガエハネカクシ

1ex., 高岡町内山, 7. VI. 2016, ライト; 2exs., 高岡町内山, 16. VII. 2016, ライト; 1ex., 佐土原町石崎浜, 5. VIII. 2016, ライト

Paederus fuscipes (Curtis) アオバアリガタハネカクシ

1ex., 高岡町内山, 17. VI. 2016, ライト; 2exs., 佐土原町石崎浜, 5. VIII. 2016, ライト

Panscopaeus lithocharoides (Sharp) マメトガリハネカクシ

1ex., 高岡町内山, 14. VII. 2016, ライト; 2exs., 田野町朝陣野, 26. VI. 2016, ライト

Pinophilus lewisius Sharp ルイスクビブトハネカクシ

1ex., 高岡町内山, 6. VII. 2016, ライト

Pinophilus punctatissimus Sharp オオクビブトハネカクシ

1ex., 高岡町内山, 23. VI. 2016, ライト

Rugilus japonicus Y. Watanabe ツマキクビボソハネカクシ(九州本土新記録。屋久島からは記録あり)

1ex., 高岡町内山, 23. VI. 2016, ライト; 1ex., 田野町朝陣野, 26. VI. 2016, ライト;

1ex., 高岡町瓜田ダム, 5. VII. 2016, ライト

Algon grandicollis Sharp ムネビロハネカクシ

1ex., 田野町朝陣野, 9. VIII. 2016, FIT

Eucibdelus japonicus Sharp ハイイロハネカクシ

1ex., 田野町朝陣野, 26. VI. 2016, ライト

Gabrius ophion Smetana オフィオンホソコガシラハネカクシ(九州本土新記録。対馬からは記録あり)

1ex., 田野町朝陣野, 22. VII. 2016, FIT

Indoquedius juno (Sharp) ヤマトオオメツヤムネハネカクシ

1ex., 田野町朝陣野, 9. VIII. 2016, FIT

Neobisnius pumilus (Sharp) アカバヒメホソハネカクシ

1ex., 高岡町内山, 17. VI. 2016, ライト; 1ex., 高岡町内山, 16. VII. 2016, ライト; 2exs., 高岡町瓜田ダム, 5. VII. 2016, ライト

Onthorestes gracilis (Sharp) サビハネカクシ

1ex., 田野町朝陣野, 9. VIII. 2016, FIT

Phacophallus pallidipennis Motschulsky オオヨツミゾナガハネカクシ

1ex., 佐土原町石崎浜, 5. VIII. 2016, ライト

Philonthus gastralis Sharp チャバネコガシラハネカクシ

1ex., 田野町鱒塚山, 26. V. 2016

Philonthus lewisius Sharp オオドウガネコガシラハネカクシ

2exs., 高岡町内山, 7. VI. 2016, ライト; 3exs., 高岡町内山, 14. VII. 2016, ライト; 1ex., 佐土原町石崎浜, 22. VII. 2016, ライト; 1ex., 佐土原町石崎浜, 5. VIII. 2016, ライト

Philonthus micanticollis Sharp ニジムネコガシラハネカクシ

2exs., 高岡町穆佐, 10. VI. 2016; 1ex., 高岡町瓜田ダム, 5. VII. 2016, ライト; 1ex., 佐土原町石崎浜, 5. VIII. 2016, ライト

Philonthus numata Dvorak キアシチビコガシラハネカクシ

5exs., 高岡町内山, 14. VII. 2016, ライト; 1ex., 高岡町内山, 16. VII. 2016, ライト; 2exs., 高岡町瓜田ダム, 5. VII. 2016, ライト; 1ex., 佐土原町石崎浜, 22. VII. 2016, ライト; 2ex., 佐土原

町石崎浜, 5. VIII. 2016, ライト

Philonthus tardus Kraatz ヘリアカバコガシラハネカクシ
1ex., 高岡町内山, 22. VI. 2016, ライト

Platydracus brachycerus Smetana & Davies ヒメクロトガリオオズハネカクシ
1ex., 田野町朝陣野, 22. VII. 2016, FIT; 1ex., 田野町鰐塚山, 31. V. 2016, FIT; 1ex., 田野町朝陣野, 31. V. 2016, FIT.

Platydracus brevicornis (Motschusky) アカバトガリオオズハネカクシ
2exs., 田野町朝陣野, 22. VII. 2016, FIT

Quedius adustus Sharp チャイロツヤムネハネカクシ
1ex., 田野町鰐塚山, 26. V. 2016, FIT; 2exs., 田野町鰐塚山, 31. V. 2016, FIT

九州初記録のメダカハネカクシ

渡辺 崇

(神奈川県藤沢市本鵜沼 3-7-16 : 〒251-0028)

昨年木野田毅氏から宮崎県内で採集されたハネカクシの同定を依頼されたが、その際筆者では同定できなかつたメダカハネカクシを直海俊一郎(千葉市)氏に依頼したところ、そのうちの1種が *Stenus disterminus* Puthz ヒメヒザグロメダカハネカクシと同定された。

本種はこれまで本州(千葉県南房総から記載され、その後静岡でも得られているという)からのみ知られていて、九州からは初めてとのことなので記録しておく。

1♂ 延岡市北川町上祝子大藪 14. IV. 1994 木野田毅採集。

標本を恵与された木野田毅氏、同定の労をとられた直海俊一郎氏にお礼申しあげる。なお、標本は直海氏に移管された。

宮崎県内の海浜性ハネカクシ採集記録

渡辺 崇

(神奈川県藤沢市本鵠沼 3-7-16: 〒251-0028)

宮崎県内の海浜に打ち寄せられた枯れ木や枯れ枝などの下から得られたハネカクシを記録した。これまでに本県から記録がないと思われる種には(*)つけた。*Cafius* 属については、九州から他に *C. mimulus* Sharp ヒラタアバタウミベハネカクシが記録されているが、Sharp の記載以来ほとんど採集記録がないようである。

採集者の記入がないデータは全て筆者の採集品である。他に笹岡康則氏の採集品がある。標本を恵与いただいた笹岡氏にお礼申し上げる。

なお、九州の海浜のハネカクシとしては他に *Liusus hilleri* Weise カタモンハネカクシが記録されている。また、我が国からは他の海浜性ハネカクシや岩礁などに生息するヒゲブトハネカクシ亜科の種が知られているが、本県からは今のところ記録がなく、今後の調査課題である。

Cafius algarum (Sharp) ヒメアバタウミベハネカクシ (*)

1ex., 佐土原町石崎海岸, 19. V. 2015; 1ex., 宮崎市白浜海岸, 30. VII. 2015

Cafius histrio (Sharp) ホソアバタウミベハネカクシ(*)

8exs., 宮崎市白浜海岸, 30. VII. 2015

Cafius rufescens Sharp アカバアバタウミベハネカクシ(*)

7exs., 佐土原町石崎海岸, 19. V. 2015; 1ex., 宮崎市白浜海岸, 30. VII. 2015; 6exs., 串間市本城, 13. VIII. 2015, 笹岡康則

Cafius vestitus (Sharp) オオアバタウミベハネカクシ

1ex., 宮崎市白浜海岸, 30. VII. 2015; 5exs., 串間市本城, 13. VIII. 2015, 笹岡康則; 1ex., 都農町都農海岸, 20. VII. 2015; 2exs., 佐土原町石崎海岸, 19. V. 2015

Phucobius simulator Sharp ツヤケシアカバウミベハネカクシ

5exs., 宮崎市白浜海岸, 30. VII. 2015; 2exs., 串間市本城, 13. VIII. 2015, 笹岡康則



佐土原町石
崎海岸

参考文献

- 永井脛 (1991) (続々)南郷町大島および虚空蔵島の甲虫. 宮崎県高等学校教育研究会理科部会誌, (28): 1-3.
中武文広 (2001) 日向市・海浜の甲虫採集. タテハモドキ, (37): 21-25.
柴田泰利他 (2013) 日本産ハネカクシ科総目録(昆虫綱・甲虫目)

宮崎県内の甲虫 59種

木野田 毅

(都城市高城町穂満坊 350-3 : 〒885-1202)

ここ1年半ほど、霧島山系の調査が多く、地元の都城市内や綾町の大森岳林道あたりに出かける回数が激減してしまった。笹岡康則氏、渡辺崇氏、及び故人の井之口稀秀氏が採集された甲虫、オオクワガタの採集情報を教えていただいた森山誠氏の記録を加えて59種をここに報告したい。

採集者の記述がないのは筆者の採集のものである。笹岡氏、渡辺氏には、採集された甲虫を見る機会を与えていただきました。ありがとうございます。標本は筆者が保管しています。また、森山誠氏には、都城市山之口町のホテルの産地を案内していただき、生きたオオクワガタのメスを見せていただきました。感謝申し上げます。森山さんは親子ですばらしい昆虫標本を作製されています。

最後に、コメツキムシ科などの同定をしていただきました堤内雄二氏に感謝申し上げます。

オサムシ科 Carabidae

- 1 ヒメオサムシ *Carabus japonicus japonicus* Motschulsky
6♂6♀, 川南町遊学の森(4831-2389), 6.V.2013 ; 1♀, 西都市加勢上(4831-0296), 8.V.2013
- 2 ムラサキオオゴミムシ *Trigonognatha coreana* (Tschitschérine)
1♀, 諸塚村七ツ山, 標高 930m(4831-6249), 14.X.2012
- 3 アオヘリホソゴミムシ *Drypta japonica* Bates
1 ex., 宮崎市高岡町穆佐(4731-7216), 27.VIII.2009, 笹岡 leg.

ゲンゴロウ科 Dytiscidae

- 4 シマゲンゴロウ *Hydaticus bowringi* Clark, 1864
1♂, 日向市日向工業高校西水路(4831-4560), 4.VIII.2001
- 5 ウスイロシマゲンゴロウ *Hydaticus rhantoides* Sharp, 1882
1♀, 宮崎市高岡町穆佐(4731-7225), 7.VIII.2009, 笹岡 leg.

ガムシ科 Hydrophilidae

- 6 ウスモンケンシガムシ *Cercyon laminatus* Sharp
1 ex., 延岡市大貫町, 27.V.1987 ; 5 exs., 北川町上祝子・小岩屋, 30.VII.1993
- 7 キイロヒラタガムシ *Enochrus simulans* (Sharp)
3 exs., 延岡市追内町, 11.VI.1992 ; 1 ex., 野尻町西角内・三ヶ野山, 5.VII.1992 ; 1 ex., 北川町上祝子・小岩屋, 21.VII.1993 ; 3 exs., 宮崎市大瀬町本庄川(4731-7250), 2.VI.1997, 井之口希秀 leg.
- 8 ゴマフガムシ *Berosus signaticollis punctipennis* Harold
1 ex., 高岡町去川(4731-6189), 25.VIII.1990 ; 1 ex., 北川町上祝子・小岩屋, 4.VIII.1994 ; 3 exs., 日向市日の平(4831-4436), 27.VII.2001

エンマムシ科 Histeridae

- 9 オオマルマメエンマムシ *Gnathoncus nannetensis* (Marseul, 1862)
4 exs., 延岡市恒富中, 4.VI.1985

シデムシ科 Silphidae

- 10 ベッコウヒラタシデムシ *Necrophila brunnicolis* (Kraatz, 1877)

1 ex.,北川町上祝子小岩屋, 15.IX.1995

クワガタムシ科 Lucanidae

1 1 オオクワガタ *Dorcus hopei* (E.Saunders)

1 ♀,都城市山之口町, 23.VIII.2015,森山誠 leg. (飼育中に産卵もしている。)

1 2 チビクワガタ *Figulus binodulus* Waterhouse

1 ex.,都城市高城町穂満坊(4731-5160), 23.V.2015

コガネムシ科 Scarabaeidae

1 3 クロツツマグソコガネ *Saprosites japonicus* Waterhouse,1875

1 ex.,綾町前川林道(4831-1148), 7.VI.2009,笹岡 leg.

1 4 セスジカクマグソコガネ *Rhyparus azumai azumai* Nakane,1956

8 exs.,美郷町西郷区森の科学館(4831-5314), 5.VIII.2007 ; 1 ex.,綾町大森岳林道(4831-0146), 9.VI.2011,笹岡 leg. ; 3 exs.,同, 23.VI.2011,笹岡 leg.

1 5 ヒメセスジカクマグソコガネ *Rhyparus helophoroides* Fairmaire,1893

1 ex.,綾町大森岳林道(4831-0146), 10.VIII.2011,笹岡 leg.

1 6 ヒメフチケマグソコガネ *Aphodius urostigma* Harold,1862

1 ex.,綾町野首(4831-0109), 17.VII.2011

1 7 コツヤマグソコガネ *Aphodius maderi* Balthasar,1938

1 ex.,綾町大森岳林道(4831-0146), 13.IX.2010,笹岡 leg. ; 1 ex.,同, 9.VI.2011,笹岡 leg. ; 1 ex.,同, 23.VI.2011,笹岡 leg.

1 8 ウスイロマグソコガネ *Aphodius sublimbatus* Motschulsky,1860

2 exs.,高岡町去川(4731-6189), 25.VIII.1990 ; 1 ♀,綾町大森岳林道(4831-0146), 28.VIII.2011,笹岡 leg. ; 1 ex.,都城市都原(4731-4073), 18.V.2016 ; 1 ♂, 都城市都原(4731-4083), 6.X.2016

1 9 ゴホンダイコクコガネ *Copris acutidens* Motschulsky,1860

1 ♀,綾町大森岳林道(4831-0146), 12.VIII.2011,笹岡 leg.

2 0 ニッコウコエンマコガネ *Caccobius nikkoensis* (Lewis,1895)

1 ♀,日之影町見立溪谷入口(4931-1346), 21.X.2006

2 1 ツヤエンマコガネ *Parascatonomus nitidus* (Waterhouse,1875)

1 ♂,綾町大森岳林道(4831-0146), 31.VIII.2011,笹岡 leg.

2 2 コアオハナムグリ *Gametis jucunda* (Faldermann,1835)

2 exs.,綾町大森岳林道(4831-0146), 24.VII.2011

2 3 シロテンハナムグリ *Protaetia orientalis submarmorea* (Burmeister,1842)

1 ex.,延岡市古城町, 21.VII.1984 ; 1 ex.,延岡市古城町天守山, 25.V.1985 ; 8 exs.,田野町片井野林道, 17.VIII.1996 ; 1 ex.,延岡市柚ノ木田町, 12.V.1992 ; 1 ex.,田野町鰐塚山, 25.VII.1992 ; 2 exs.,美郷町西郷区森の科学館(4831-5314), 3.VII.2002 ; 1 ex.,日向市富高・日向中学校(4831-5409), 11.IX.2006 ; 1 ex.,都城市高城町穂満坊(4731-5160), 16.VII.2011 ; 1 ex.,都城市高崎町大牟田(4731-6046), 21.VII.2011,木野田利子 leg. ; 1 ex.,同, 21.VII.2011,木野田利子 leg.

2 4 ヒラタハナムグリ *Nipponovalgus angusticollis* (Waterhouse,1875)

2 exs.,西米良村村所(4831-2162), 1.IV.2007 ; 2 exs.,都農町尾鈴山キャンプ場(4831-3347), 31.III.2007

2 5 セマダラコガネ *Exomala orientalis* (Waterhouse,1875)

2 ♂,日向市比良町(4831-4499), 14.VI.1997 ; 1 ♂,宮崎市田野町(4731-6223), 12.IV.2009,笹岡 leg. ; 1 ♂ 1 ♀,都城市高崎町(4731-6055), 30.VII.2011 ; 1 ex.,綾町大森岳林道(4831-0146), 3.

VIII.2013

- 2 6 アオドウガネ *Anomala albopilosa albopilosa* (Hope,1839)
2 exs.,東臼杵郡西郷村森の科学館(4831-5384), 4.VII.2002
- 2 7 ヒメコガネ *Anomala rufocuprea* Motschulsky,1860
1 ex.,田野町片井野林道, 17.VIII.1996
- 2 8 コガネムシ *Mimela splendens* (Gyllenhal,1817)
1 ♂,都城市高城町穂満坊(4731-5160), 25.V.2014
- 2 9 ヒメアシナガコガネ *Ectinohoplia obducta* (Motschulsky,1857)
1 ♂,宮崎市田野町鱈塚山(4731-5211), 20.VII.1997 ; 1 ♂,宮崎市高岡町湯の谷(4731-7215),
7.V.2007,笹岡 leg. ; 2 ♂,西都市三財(4831-0278), 8.V.2007,笹岡 leg. ; 1 ♂,宮崎市下北方町池内
(4731-7353), 23.V.2009,笹岡 leg.
- 3 0 クロコガネ *Holotrichia kiotoensis* Brenske, 1894
1 ♀,日向市富高・日向中学校(4831-5409), 2.VI.2007
- 3 1 ナガチャコガネ *Heptophylla picea* Motschulsky,1857
1 ♀,日向市比良町(4831-4499), 14.VI.1997
- 3 2 マルガタビロウドコガネ *Maladera secreta secreta* (Brenske,1897)
1 ex.,高岡町去川, 25.VIII.1990
- 3 3 アカビロウドコガネ *Maladera castanea* (Arrow,1913)
1 ♂,都城市高城町穂満坊(4731-5160), 10.VIII.2011,木野田利子 leg.

ナガハナノミ科 Ptilodactylidae

- 3 4 ヒゴヒゲナガハナノミ *Paralichas higoniae* Lewis
1 ♂,宮崎市高岡町湯の谷(4731-7215), 7.V.2007,笹岡 leg. ; 1 ♂,宮崎市新名爪(4731-7365), 20.
V.2009,笹岡 leg.

タマムシ科 Buprestidae

- 3 5 タマムシ *Chrysochroa fulgidissima* (Schönherr)
1 ♀,都城市高城町有水(4731-6121), 17.VII.2012,木野田利子 leg. ; 1 ♀,都城市高城町穂満坊
(4731-5160), 29.VI.2015,木野田利子 leg.
- 3 6 マスダクロホシタマムシ *Lamprodila vivata* (Lewis,1893)
1 ♂,宮崎市清武町大戸野(4731-5246), 6.VI.2010,笹岡 leg.
- 3 7 ツヤケシナガタマムシ *Agrilus narginicollis* E.Saunders,1873
1 ex.,綾町大森岳林道(4831-0146), 16.VII.2011,笹岡 leg. (同定:堤内雄二)

コメツキダマシ科 Eucnemidae

- 3 8 ホソナガコメツキ *Isorhipis foveata* Hisamatsu,1955
1 ♀,綾町大森岳林道(4831-0146), 16.V.2012,笹岡 leg. ; 1 ♀,同, 26.V.2012,笹岡 leg.

コメツキムシ科 Elateridae

- 3 9 マダラチビコメツキ *Prodrasterius agnatus* (Candèze,1873)
2 exs.,都城市高城町穂満坊(4731-5160), 29.V.2014
- 4 0 ホソツヤハダコメツキ *Athousius humeralis* (Miwa,1927)
1 ex.,綾町大森岳林道(4831-0146), 29.IV.2012,笹岡 leg.
宮崎県祖母山にて2011年7月14日、有本晃一氏により採集されている(2014年,月刊むし
515号)。森林の周辺の草地に生息しているという。大森岳林道での記録は、宮崎県内の貴重な

記録であると思われる。

- 4 1 ヨツキボシコメツキ *Ectinoides insignitus insignitus* (Lewis,1894)
1 ex.,宮崎市田野町鱈塚山, 21.VII.2013,笹岡 leg.
- 4 2 クシコメツキ *Melanotus legatus legatus* Candèze,1860
1 ex.,都城市姫城町(4731-4055), 11.V.2016,木野田利子 leg.
- 4 3 ヒメクシコメツキ *Melanotus legatoides* Kishii,1975
1 ♀,綾町大森岳林道(4831-0146), 18.VIII.2011,笹岡 leg.
(タテハモドキ47号で、クシコメツキ *Melanotus legatus* と報告したが、本種であった。)
- 4 4 ナガチャクシコメツキ *Melanotus spernendus spernendus* Candèze,1873
1 ♂,綾町大森岳林道(4831-0146), 9.VI.2011,笹岡 leg.
(タテハモドキ47号で、ヒメクシコメツキ *Melanotus legatoides* と報告したが、本種であった。)
- 4 5 クロクシコメツキ *Melanotus senilis senilis* Candèze,1865
1 ex.,都城市高城町穂満坊(4731-5160), 22.V.2016

ホタル科 Lampyridae

- 4 7 ムネクリイロボタル *Cyphonocerus ruficollis* Kiesenwetter
1 ♂,宮崎市青島, 21.V.1989 ; 1 ♂,宮崎市高岡町湯の谷(4731-7215), 7.V.2007,笹岡 leg. ; 1 ♂,宮崎市高岡町穆佐(4731-7216), V.2008,笹岡 leg. ; 1 ♂,宮崎市内山カブトムシの森(4731-5345), 18.V.2009,笹岡 leg. ; 2 ♂,同, 24.V.2009,笹岡 leg. ; 1 ♂,綾町大森岳林道(4831-0146), 24.V.2013, 笹岡 leg.
- 4 8 クロミナミボタル *Drilaster unicolor* Lewis
1 ♂,綾町大森岳林道(4831-0146), 24.VI.2011,笹岡 leg.
- 4 9 ゲンジボタル *Luciola cruciata* Motschulsky
2 ♂,都城市山之口町麓(4731-5153), 17.V.2015 ; 3 ♂,都城市山之口町田原(4731-5152), 20.V.2015
- 5 0 ヘイケボタル *Luciola lateralis* Motschulsky
1 ♂,都城市山之口町麓(4731-5153), 17.V.2015
- 5 1 ヒメボタル *Hotaria parvula* (Kiesenwetter)
1 ♂,都城市山之口町麓(4731-5153), 17.V.2015
- 5 2 オバボタル *Lucidina biplagiata* (Motschulsky)
1 ♂,西都市三財(4831-0278), 17.V.2007,笹岡 leg. ; 1 ♂,日南市酒谷(4731-3261), 6.VI.2010, 笹岡 leg. ; 1 ♂,同, 1.VIII.2010,笹岡 leg. ; 1 ♂,宮崎市田野町鱈塚山(4731-5211),25.VII.2010,笹岡 leg. ; 1 ♂,都城市都北町(4731-5028), 3.V.2012 ; 1 ♀,都城市妻ヶ丘町(4731-4076),3.V.2012

カッコウムシ科 Cleridae

- 5 3 イガラシカッコウムシ *Falsotillus igarashii* (Kôno,1930)
1 ex.,綾町大森岳林道(4831-0146), 10.VIII.2013,笹岡 leg.
- 5 4 キオビナガカッコウムシ *Opilo carinatus* Lewis
1 ex.,綾町大森岳林道(4831-0146), 13.V.2013,笹岡 leg.
- 5 5 ツマグロカッコウムシ *Tenerus hilleri* Harold
1 ex.,綾町大森岳林道(4831-0146), 7.VIII.2013,笹岡 leg.

オオキノコムシ科 Erotylidae

- 5 6 オオキノコムシ *Encaustes praenobilis* Lewis

1 ex.,椎葉村不土野・椎葉越, 13.V.2016,渡辺崇 leg.

ゴミムシダマシ科 Tenebrionidae

57 ヒゲブトゴミムシダマシ *Luprops orientalis* (Motschulsky,1868)

1 ex.,都城市高崎町高崎新田(4731-6055), 15.VII.2012 ; 1 ex.,綾町大森岳林道(4831-0146), 3.VIII.2013,笹岡 leg. ; 1 ex.,同,7.VIII.2013,笹岡 leg.

58 ニホンキマワリ *Plesiophthalmus nigrocyaneus nigrocyaneus* Motschulsky,1858

1 ex.,日向市田口原・越表小学校(4831-4311), 12.VII.2007,木野田利子 leg.

59 スジコガシラゴミムシダマシ *Heterotarsus carinula* Marseul,1876

1 ex.,西都市三財(4831-0278), 18.VI.2008,笹岡 leg.

ミヤマクワガタ、オスの奇形

山元修成

(岡山県岡山市北区岡町 10-13-203 : 〒700-0867)

小学生・中学生の頃、夏休みになるとクワガタ採集によく出かけていた。その際、ミヤマクワガタの奇形を1♂採集しているので報告する。

当日、朝早くクワガタ採集に出かけた。クヌギを見て探していると、頭上の枝でクヌギの樹液を舐めているクワガタを見つけ、採集したところ当個体であった。今までミヤマクワガタに限らず、クワガタを何度も採集し観察しているが、奇形クワガタはこの1頭だけである。

記録

採集地：宮崎県都城市安久町 蔦ヶ岡林道

採集年月日：2007年8月2日

採集・標本保管：山元修成



ヘクソカズラグンバイ、宮崎市に到達

小松 孝 寛

(宮崎市本郷北方 2479-23 : 〒885-0925)

海外からの日本への侵入グンバイムシとしてプラタナスグンバイ、アワダチソウグンバイとヘクソカズラグンバイが有名である。宮崎県ではプラタナスグンバイはまだ確認されていないが、アワダチソウグンバイは既に各地で確認されている。アワダチソウグンバイは北米原産で 2000 年に西宮市で発見され、2008 年頃に宮崎県に侵入してきていたものと思われる。筆者も 2011 年に宮崎市内海で確認している。

ヘクソカズラグンバイは東南アジア原産のグンバイムシで、1996 年に伊丹空港周辺で発見された。おそらく航空機貨物にまぎれて侵入したものと考えられている。その後、本州、四国と九州北部に分布を広げた。ヘクソカズラグンバイも宮崎県に侵入しているのではないかと思っていたときに、大分の三宅武氏から、昨年 (2015 年) 延岡市北川町でヘクソカズラグンバイを確認したと聞き、今回どこまで分布を広げているか調査を行った。調査範囲は国道 10 号線と国道 220 号線に沿った海岸線近くである。

<記録>

2016 年 9 月 10 日

- ・延岡市北川町長井～川坂湿地

川坂湿地手前の民家生垣でヘクソカズラグンバイの成虫と幼虫を多数確認。(7♂5♀採集)

- ・延岡市西階町金堂ヶ池

芝生にある東屋周辺でヘクソカズラグンバイの成虫と幼虫を多数確認。(4♂5♀採集)

- ・東臼杵郡門川町庵川

かどかわ温泉第二駐車場でヘクソカズラグンバイ成虫 1 頭と幼虫 3 頭を確認。(1♂採集)

- ・日向市財光寺小倉ヶ浜

小倉ヶ浜公園駐車場でヘクソカズラグンバイ成虫 4 頭を確認。(2♂2♀採集)

- ・日向市幸脇権現崎

権現崎へ行く道の途中のヘクソカズラからクソカズラグンバイを成虫 1 頭だけ確認。周辺のヘクソカズラは食痕もなく綺麗な葉のままだった。(1♂採集)

- ・児湯郡都農町 都農～東都農

東都農から都農まで 10 号線と県道 302 号線で囲む範囲の 6 か所でヘクソカズラを調べたが、いずれにも食痕もなく、ヘクソカズラグンバイは確認できなかった。

- ・児湯郡川南町

川南畜産試験場から海側を川南運動公園付近まで 4 か所でヘクソカズラを確認したが、いずれにもヘクソカズラグンバイは認められなかった。

- ・児湯郡高鍋町持田

小丸川河川敷で 4 か所ヘクソカズラを調べたが、葉はきれいで食痕はなかった。

2016.9.29

- ・西臼杵郡日之影町見立

県道 6 号線沿いに英国館まで 4 か所ヘクソカズラを調べたが、葉はきれいで食痕はなかった。

2016.10.10

- ・児湯郡都農町川北～高鍋町蚊口浦

10 号線より海側の 20 か所以上でヘクソカズラを調べたが、いずれにも食痕はなかった。

2016.10.11

- ・宮崎市橘通西1丁目
宮崎市役所第2庁舎裏の駐車場のヘクソカズラ数株に食痕があった。(lex.採集)
- ・宮崎市祇園3丁目
中鶴児童公園のヘクソカズラを調べたが、すべて食痕はなかった。
- ・宮崎市船塚町3丁目
宮崎県総合文化公園はきれいに除草されており、ヘクソカズラは生えていなかった。

2016.10.12

- ・宮崎市東一丁目
宮崎市中央公園と宮崎科学技術館の周辺を調査したが、ヘクソカズラに食痕はなかった。
- ・宮崎市生目
丑山池近くのビオトープのヘクソカズラには食痕が認められなかった。

2016.10.14

- ・宮崎市新別府町上和田
阿波岐腹森林公園のヘクソカズラを調べたが、すべてに食痕は認められなかった。
- ・宮崎市新別府町前浜
みやざき臨海公園およびサンビーチツ葉のヘクソカズラを調べた。すべて綺麗な葉でヘクソカズラグンバイの食痕は認められなかった。

2016.10.17

- ・宮崎市新別府町産母
市民の森入口はきれいに除草されており、ヘクソカズラが見つからなかった。
- ・宮崎市下北方町
平和台公園のヘクソカズラはきれいな葉のまま、食痕は認められなかった。
- ・宮崎市学園木花台西1丁目
宮崎大学構内のヘクソカズラを調べたが、食痕は認められなかった。
- ・宮崎市青島1丁目
子供の国駐車場のヘクソカズラを調べたが、食痕は認められなかった。
- ・宮崎市青島4丁目
青島地域センター駐車場周りを調べたが、ヘクソカズラは見つからなかった。

2016.10.20

- ・宮崎市橘通東1丁目
県庁付近を調査した。宮崎土木事務所の生垣でヘクソカズラグンバイの食痕を確認した。
- ・宮崎市橘通東
220号線を県庁付近から山形屋までヘクソカズラを調査したが、食痕は確認できなかった。

2016.10.24

- ・宮崎市田野町片井野
林道沿いのヘクソカズラを調べて行ったが、すべて綺麗な葉で食痕はなかった。

2016.10.25

- ・宮崎市加江田
好隣梅のヘクソカズラに食痕は認められなかった。

2016.10.26

- ・宮崎市神宮2丁目
宮崎県総合博物館から民家園に行くツツジの生垣に多数のヘクソカズラが生えている。殆どのヘクソカズラはきれいな葉であったが、2株だけヘクソカズラグンバイの食痕が認められ、

その中の1株から幼虫14頭を確認した。(幼虫14頭採集)

・児湯郡高鍋町上江

舞鶴公園の石崖に生えたヘクソカズラからヘクソカズラグンバイ成虫1頭と幼虫1頭を採集した。道路沿いのツツジの生垣に生えている多数のヘクソカズラはきれいな葉で食痕は認められなかったので、ヘクソカズラグンバイは侵入してきたばかりのようである。

・児湯郡都農町川北

一ノ宮神社駐車場の通り沿いに多数のヘクソカズラがあったが、食痕は認められなかった。

2016.11.1

・児湯郡高鍋町南高鍋

南九州大学跡のヘクソカズラグンバイを調べたが、食痕は認められなかった。

・宮崎市塩路

一ツ葉道路駐車場付近のヘクソカズラグンバイを調べたが、食痕は認められなかった。

2016.11.2

・宮崎市池内町

古賀病院駐車場のヘクソカズラグンバイを調べたが、食痕は認められなかった。

・宮崎市下北方町

大淀川学習館近くの里山の楽校と水辺の楽校のヘクソカズラグンバイを調べたが、食痕は認められなかった。

2016.11.3

・日南市南郷町贅波

亜熱帯作物支場から呼子池周辺までヘクソカズラを調べたが、食痕は認められなかった。

・日南市中央通1丁目

日南市役所～保健福祉総合センター周辺を調査したが、生垣はきれいに除草されており、ヘクソカズラは生えていなかった。

2016.11.7

・宮崎市花ヶ島町

JRA 育成牧場を調べた。公園内はきれいに除草されており、ヘクソカズラは殆どなかったが、玄関前のツツジの生垣だけヘクソカズラが生えていた。そのヘクソカズラの殆どにヘクソカズラグンバイの食痕が認められ、成虫も確認できた。(1♀採集)

・宮崎市柳丸町

ハンズマン柳丸店付近の道路沿いの生垣に生えているヘクソカズラを調べたが、ヘクソカズラグンバイの食痕は確認できなかった。

以上をプロットしたのが図1である。ヘクソカズラグンバイは既に日向市美々津までは広い範囲に侵入しており、高鍋町中心部と宮崎市中心部にその勢力を伸ばしつつある。自動車など人為的な手段によって移動しているものと思われる、他府県から移動してくる自動車が多い宮崎県庁、宮崎市役所や宮崎総合博物館などで生息が確認できた。来年は更に勢力を伸ばすことが考えられ、数年で宮崎県全域にヘクソカズラグンバイの分布が広まるものと予想される。

参考文献

小松孝寛, 2016. 宮崎県の陸生カメムシ. 139pp. 黒潮文庫, 宮崎.

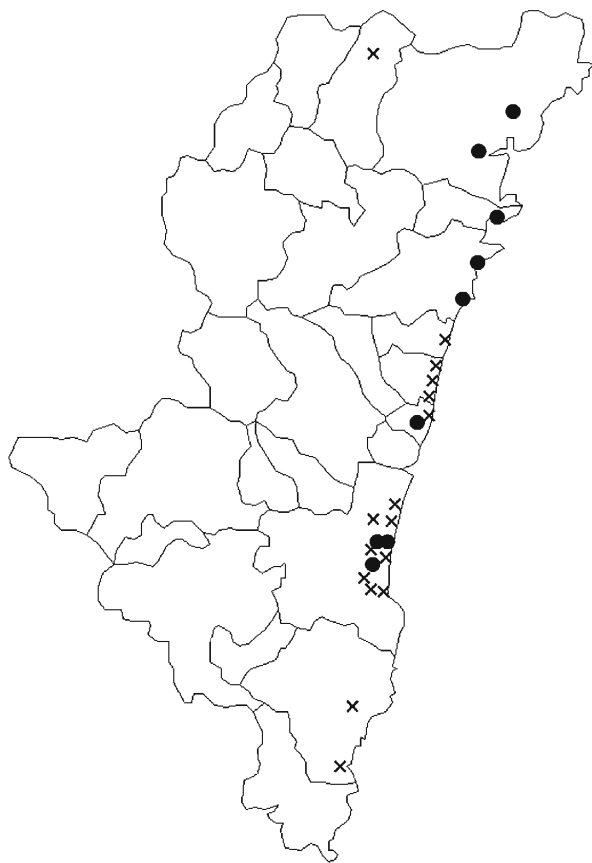


図1 ヘクソカズラグンバイの分布 (2016)



図2 ヘクソカズラグンバイ
(2016.10.11 宮崎市役所駐車場)



図3 食害されたヘクソカズラ
(2016.10.26 宮崎県総合博物館)



図4 ヘクソカズラグンバイ (2016.9.10 日向市財光寺小倉ヶ浜公園)

クロボシセセリ，大淀川を渡る

小松 孝 寛

(宮崎市本郷北方 2479-23 : 〒885-0925)

宮崎県では、クロボシセセリは2010年9月に宮崎市内海小内海で初めて記録された(竹迫2010)。その年の冬には当地での越冬も確認され、県内での定着が危惧された(小松2011)。その後もクロボシセセリは宮崎市内海小内海で発生を続け、2014年には宮崎市内海の道の駅フェニックス、青島亜熱帯植物園へとその生息範囲を広げている(小松2014)。今年10月には宮崎市役所付近の花壇でクロボシセセリが吸蜜しているのを確認した。ついに大淀川を渡り、北上を始めたのかと思いい、宮崎市役所よりも北にあるヤシ類(特にシンノウヤシ)の調査を行ったが、現時点では宮崎市役所より北ではクロボシセセリの痕跡を見つけることはできなかった。来年は更に生息域を広げられると思われるので、宮崎市を中心とした県内でのクロボシセセリの調査が必要である。なお、食痕を目安に調査する場合は、ミノガの仲間がヤシを食べている場合があるので、注意を要する。食痕だけではなく、巣があることを目安に探するのが良い。

<記録>

クロボシセセリ *Suastus gremius* (Fabricius, 1798)

- 2015年8月3日 若齢幼虫1頭 宮崎市内海(道の駅フェニックス)
駐車場からレストランへの道そばにあるシンノウヤシで確認した。
- 2015年9月13日 成虫30頭以上・幼虫5頭以上 宮崎市内海小内海(旧オーシャンヒル)
海沿いの小道に咲いているアワユキセンダングサで多数が吸蜜していた。
- 2016年1月14日 若齢幼虫2頭 宮崎市青島2丁目(青島海水浴場)
海岸沿いのビロウに作っていた巣から確認した。
- 2016年1月31日 終齢幼虫1頭 宮崎市青島2丁目(宮崎市青島亜熱帯植物園)
園内に植栽されているビロウから確認した。
- 2016年9月26日 成虫30頭以上・幼虫5頭 宮崎市内海小内海(旧オーシャンヒル内)
成虫はアワユキセンダングサで吸蜜。幼虫はシンノウヤシで確認した。
- 2016年10月6日 成虫2頭 宮崎市本郷北方(自宅庭)
庭に植えたランタナに吸蜜に来ていた。
- 2016年10月10日 成虫1♂ 宮崎市本郷北方(自宅庭)
ランタナで吸蜜、一緒に吸蜜に来ていたイチモンジセセリ♀に求愛していた。
- 2016年10月11日 成虫6頭 宮崎市西一丁目～橘通東一丁目
市役所河川敷駐車場のランタナで、多数のイチモンジセセリ、チャバネセセリに混ざって2頭が吸蜜。市役所向かいの花壇で4頭が吸蜜。川沿いのマンション入り口のシンノウヤシに食痕と巣の痕があった。
- 2016年10月17日 成虫1頭 宮崎市清武町木原
宮崎大学農学部圃場前の道沿いに生えていたミゾソバで吸蜜していた。
- 2016年10月25日 成虫2頭 宮崎市青島亜熱帯植物園
中央にある花壇でクロマダラソテツシジミと一緒に吸蜜していた。
- 2016年10月31日 若齢幼虫3頭 宮崎市赤江宮崎空港
タクシー降場に植えてあるシンノウヤシに巣があり、幼虫を確認した。



庭のランタナの葉で一休みするクロボシセセリ
(2016.10.10.宮崎市本稿北方)



ミゾソバの花で吸蜜するクロボシセセリ
(2016.10.17 宮崎市清武町木原)



大淀川を越えたクロボシセセリ (2016.10.11 宮崎市橘通東1丁目)

引用文献

竹迫堅之助, 2010. 宮崎市内海地区でクロボシセセリを発見. タテハモドキ, (46) : 13-14.

小松孝寛, 2011. 内海でのクロボシセセリの越冬記録. タテハモドキ, (47) : 49-50.

小松孝寛, 2014. 道の駅フェニックスと青島亜熱帯植物園でクロボシセセリを確認. タテハモドキ, (50) : 104-107.

クロバアカサシガメを採集

日 高 謙 次

(宮崎市下北方 大淀川学習館：〒880-0035)

2016年12月19日、宮崎県宮崎市清武町荒平山にてクロバアカサシガメを採集した。第一展望所から丸目岳に行く登山道で朽ち木割りをしていたところ、マテバシイの朽ち木から出てきた。

採集場所を教えていただいた笹岡康則氏、同定をしていただいた小松孝寛氏に改めてお礼申し上げます。



台湾オオシオカラトンボを串間市で写真撮影

河野 宰

(串間市大字本城 6859 : 〒888-0008)

2015年4月29日13時すぎ、筆者は台湾シオカラトンボ *Orthetrum glaucum* を串間市都井岬で発見、写真撮影をしたので報告する。

発見した個体は未成熟の♂。

この台湾シオカラトンボは南方系のトンボで、今回の発見は宮崎県内でも3番目の産地、串間市では2番目の産地とのこと(岩崎郁雄氏より)。

同定については、北隆館原色昆虫大図鑑Ⅲ等で行ったが自信がもてず、宮崎昆虫同好会のみなさんに協力をいただきました。ありがとうございます。



記録 台湾シオカラトンボ
2015年4月29日、串間市都井岬

参考文献

安松京三・朝比奈正二郎・石原保(1988)原色昆虫大図鑑Ⅲ. 北隆館
尾園暁・川島逸郎・二橋亮(2012)日本のトンボ(ネイチャーガード). 文一総合出版

ハチマガイスカシバを串間市で目撃・撮影

河野 宰

(串間市大字本城 6859 : 〒888-0008)

2015年7月1日16時20分頃、自宅にて発見、撮影した。

当初はハチの一種と思い調べていたが同定に至らず、宮崎昆虫同好会の幹事会で問い合わせたところ、小松孝寛氏より「ガの一種」だとの教示を受け、ハチマガイスカシバ *Toleria contaminata* (Butler, 1878) と同定。宮崎昆虫同好会のメーリングリストにて確認を得た。

宮崎同好会の諸氏によると、これまでの宮崎県内での採集例は数回程度とのこと。

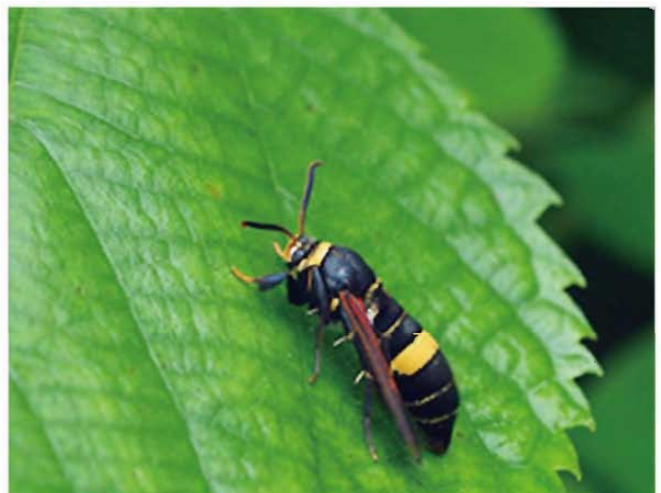
ここに記録として報告します。

記録 ハチマガイスカシバ

2015年7月1日、串間市大字本城

参考文献

矢田脩(1981)原色昆虫大図鑑Ⅰ. 北隆館



キモンクチバを串間市で写真撮影

河野 宰

(串間市大字本城 6859 : 〒888-0008)

2015年9月3日16時すぎ、自宅にてキモンクチバ *Ophisma gravata* Guenée, 1852 を発見、撮影したので報告する。

キモンクチバ、これまで宮崎県内では、「日向市史 自然編」と宮崎昆虫同好会の機関誌「タテハモドキ 44号」に延岡の宮原義雄氏の報告が2例あるのみ。

串間市では初報。記録として報告します。

また同定については、宮崎昆虫同好会のみなさんに協力をいただきました。

ありがとうございます。

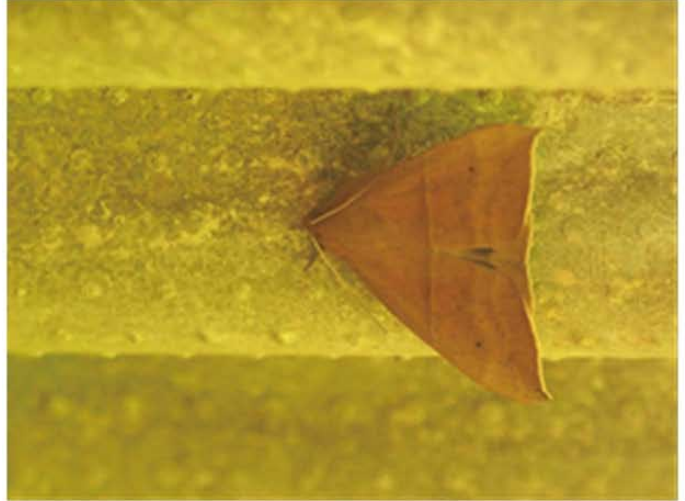
記録 キモンクチバ

2015年9月3日、串間市大字本城 6859

参考文献

矢田脩 (1981) 原色昆虫大図鑑 I. 北隆館

尾園暁・川島逸郎・二橋亮 (2012) 日本のトンボ (ネイチャーガイド). 文一総合出版



キンモンノメイガを串間市で目撃・撮影

河野 宰

(串間市大字本城 6859 : 〒888-0008)

2015年11月14日16時20分頃、自宅にて発見。翌日撮影した。

「原色昆虫大図鑑 I」にてキンモンノメイガ *Aethaloessa calidalis tiphalis* と同定。

しかしながら、図鑑やネット上で調べるもキンモンノメイガについての詳細がわからず、また、宮崎県内での記録も確認できませんでしたので記録として報告します。

記録 キンモンノメイガ

2015年11月14日、

串間市大字本城 6859

参考文献

矢田脩 (1981) 原色昆虫大図鑑 I. 北隆館



2016年の宮崎県北のクロマダラソテツシジミの記録

安本潤一

(延岡市野田町 5125-1 : 〒882-0801)

2016年県北部地方のクロマダラソテツシジミ *Chilades pandava* について、数例記録しているの
で報告する。本種は今年も宮崎県内の南部、中部に飛来したことが伝えられ、また、9月に入って
「宮昆 ML」で川野さんから大分県内への飛来も報告されていた。その時点で、宮崎県北では確認
していなかったが、台風通過後の9月22日に門川町で確認した。その後は、12月3日延岡市内で
1♂を採集した。余談ではあるが、11月25日、インドネシア、バリ島サヌール (Sanur) におい
て本種を10頭程度確認した。この場所では最優占種であったが、どこにでもいるという感じでは
なかった。

「宮昆 ML」で情報提供して頂いた川野雅喜さん、山元一裕さんにお礼申し上げます。

(県北地方の記録、記録者は全て筆者)

- 1 ♀採集 2016年9月22日 門川町庵川
本個体から採卵し、10/7 1♂、10/9 1♀が羽化
- 1 ♀目撃 2016年9月22日 門川町牧山 (民宿のソテツに産卵中)
- 1 ♂採集 2016年12月3日 延岡市西階町

延岡市北方町でベニイカリモンガを採集

安本潤一

(延岡市野田町 5125-1 : 〒882-0801)

延岡市北方町でベニイカリモンガ *Callidula attenuate* を採集しているので報告する。本県中部地
区ではよく見られる本種も、延岡市ではまだ島浦町の1例しか記録がなく、今回が2例目となる。
記録

1頭 採集 2016年10月20日 延岡市北方町仲畑 安本潤一

参考文献

朝日延太郎 他(2000)延岡市環境基本計画自然環境調査報告書及びデータ集. VII-ii, 蛾類, 延岡市
安本潤一(2004)延岡市のイカリモンガの採集記録. タテハモドキ, (40):13

ミンミンゼミの遅い鳴き声記録

安本潤一

(延岡市野田町 5125-1 : 〒882-0801)

延岡市北浦町でミンミンゼミ *Oncotympana maculaticolis* の鳴き声を10月に聞いているので報
告する。今年は秋に高温が続き、このことも影響したかもしれない。鳴いていた個体は1個体で、
さすがに鳴き疲れたような声であった。

記録

1♂鳴き声 2016年10月19日 延岡市北浦町阿蘇港 安本潤一 確認

延岡市行膝町でシータテハ採集

怒和貞賞・安本潤一

(延岡市行膝町 821-11 : 〒882-0007)

(延岡市野田町 5125-1 : 〒882-0801)

延岡市行膝町でシータテハ *Polygonia c-album* を採集したので報告する。

<シータテハの記録：怒和貞賞>

この日は朝方晴れ、9:00～曇り、昼食後、客間の廊下に在。すると、1頭の *Polygonia* らしきチョウが飛来、キタテハにしてはちょっと色が濃すぎるなア・・・?・・・と、見ていると、その内、近くのツツジの葉上に静止。そこで客間の床の間にいつも置いてある小さなグリーンネット(家の中のハエ、カ用、径 36cm) を持ち出し、うまく捕らえた。シータテハ♂の完品、またどうしてシータテハが我が庭に・・・?・・・。行膝に住んで 22 年、我が家の 71 種目のチョウとなった。

(記録)

シータテハ 1♂採集 2016 年 5 月 21 日 1:30pm 頃 延岡市行膝町 821-11 (怒和宅) 家の南側の庭 (標高 80m) ツツジ葉上、怒和貞賞 表展。

<旧延岡市内のシータテハの記録：安本潤一>

旧延岡市における本種の記録は少なく、1986 年 5 月に祝子川流域の桑平町で幼虫、蛹の記録(いずれもハルニレ)があるのみである。3 北(旧北方町、旧北川町、旧北浦町、現在は延岡市)においても、旧北川町上祝子～下祝子、北川流域(安本、未発表)、旧北方町上鹿川(安本、未発表)などで記録されているが数は少ない。

参考文献

岩崎郁雄(1985) 宮崎県のシータテハ. タテハモドキ, (20):1-26

児玉重信(1986) シータテハ 2 つの新産地. 宮崎の蝶, No.36:33-34

永井脛 延岡高校(1963,1964) 宮崎県北部の蝶 分布資料 I, II.

安本潤一(2011) 延岡市環境基本計画自然環境調査報告書. VIII-iii, チョウ類, 延岡市

ヤマトスジグロシロチョウの晩秋の記録

安本潤一

(延岡市野田町 5125-1 : 〒882-0801)

ヤマトスジグロシロチョウ *Pieris nesis* は、県 RDB : NT-r 種であり、高千穂町内には局所的に比較的普通に見られるが、延岡市では少ない。本種は主に第 1 化の春型、5～6 月に出現する第 2 化の夏型が記録されている場合が多く、それ以降の盛夏～秋の記録は少ない。延岡市の終見日は、調査不足の要因が大きい、現在の所 8 月 20 日(祝子町坂宮)である。また、高千穂町内では野方野～馬生木周辺で、2015 年 9 月 25 日に複数個体確認している(安本 未発表)。

今回、晩秋の時期に本種の成虫を探したところ、延岡市内で 10 月 25 日に、高千穂町内及び日之影町内で 11 月 20 日と、かなり遅い時期に本種を採集できたので報告する。11 月下旬という時期に成虫が確認できたことは、今年の秋が例年に比べて高温であったことも影響しているであろう。

(記録)

本種と共に近似種のスジグロシロチョウの記録も報告する。

ヤマトスジグロシロチョウ *P.nesis*

2016年10月25日	1♂	採集	延岡市貝の畑町	安本潤一
2016年10月26日	1♂	採集	高千穂町黒仁田東	安本潤一
	4♂	採集	高千穂町向山	安本潤一
	1♀3♂	採集	高千穂町向山	岡田千佳
	1♀2♂	採集	高千穂町向山	岡田陽樹
	3♂	採集	日之影町栃の木	安本潤一
2016年11月1日	3♀	採集	高千穂町秋元	安本潤一
	4♂	採集	高千穂町向山	安本潤一
	1♀	採集	日之影町栃の木	安本潤一
2016年11月9日	1♀	採集	高千穂町向山	安本美代
			かなり飛び古した個体	
2016年11月20日	1♀1♂	採集	日之影町栃の木	安本潤一
			飛び古した個体	
	1♂	採集	高千穂町向山	安本美代
	1♀	採集	高千穂町向山	安本潤一
	1♀		はかなりスレ、1♂は大破	

スジグロシロチョウ *P.melete*

2016年10月25日	1♂	採集	延岡市貝の畑町	安本潤一
2016年10月26日	1♂	採集	高千穂町向山	岡田千佳
	2♂	採集	高千穂町向山	安本潤一
2016年10月31日	2♂	採集	延岡市熊野江町	安本潤一
2016年11月1日	2♀1♂	採集	高千穂町秋元	安本潤一
	1♀	採集	日之影町栃の木	安本潤一
	1♂	採集	延岡市上三輪町	安本潤一
	1♂	採集	延岡市貝の畑町	安本潤一

参考文献

安本潤一(2011) 延岡市環境基本計画自然環境調査報告書. VIII-iii, チョウ類, 延岡市

アシビロヘリカメムシの記録

木野田 毅・小林 賢司

(都城市高城町穂満坊 350-3 : 〒885-1202)

(日向市美々津町 2985 : 〒889-1111)

いつも美々津町の昆虫の情報をいただいている小林賢司氏より、めずらしいカメムシを送っていただいた。すぐには同定できなかつたので、南方新社の「昆虫の図鑑 採集と標本の作り方 (増補改定版)」をめくると、190頁にこのカメムシが載っていました。分布は奄美～沖縄となっています。これが日向市で採れたのですから、小林氏もびっくりして送付されたのでした。届いたときにはまだ生きていましたが、10月下旬、カラスウリ、いや、キュウリでもいいから容器に餌を入れておけばもっと長生きしたのでしょうか、ちょっと仕事に追われていた時期でした。カメムシに詳しい小松孝寛氏に連絡し、ようやく現物を届けるという直前に、このカメムシは動かなくなっていました。小松氏からは、確かにアシビロヘリカメムシであると同定していただきました。また、小松氏は美々津町の小林氏の自宅に行ってください、庭にあったカラスウリが発生源であろうこと、その時には追加個体は得られなかったことなどの情報をいただきました。

ここに分布記録として報告します。標本の写真は、小松氏撮影です。

記録

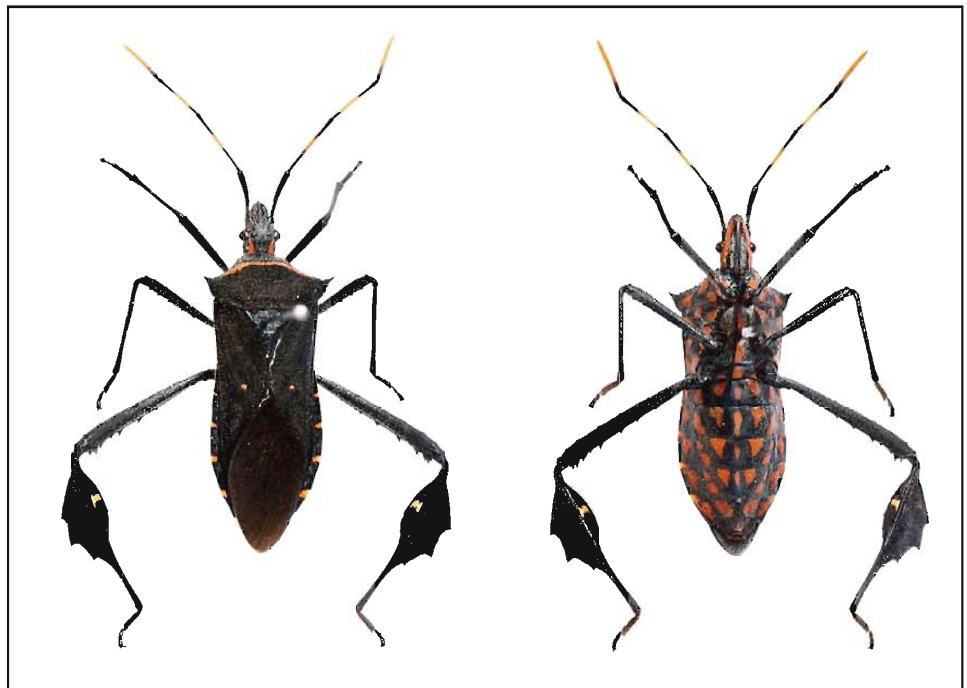
アシビロヘリカメムシ *Leptoglossus gonagra* (Fabricius, 1775)

1頭、宮崎県日向市美々津町 (4831-3488) 2016年10月27日

採集者：小林 賢司

長崎県病虫害防除所のHPによると、本種は平成16年8月中旬に、長崎県小浜町のニガウリにおいて幼虫が確認されているようです。野外ではカラスウリで見られるようですが、農作物であるニガウリやヘチマ等では、商品価値が著しく低下し、袋がけなどの吸汁防止対策が必要なようです。以下は、長崎県病虫害防除所の本種の情報掲載URL

<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/kouhou/nagasakihinnbyougaichuu/ashibiroherikamemushi.html>



エノキ伐採木のクロビロウドコメツキダマシとエノキミツギリゾウムシ

笹岡 康 則

(宮崎市大字島之内 9481 : 〒880-0121)

伐採され数年放置されていたエノキで観察された。材は樹皮もしっかりついており、全体が生木の時と同じほど固い状態であった。一部の白腐れ部ではカブトムシの幼虫も数頭まとまっていた。固い材部にはタマムシの幼虫も結構な数確認できた。伐採直後でない材への産卵・発生は新たな発見となった。

クロビロウドコメツキダマシ

九州本土では宮崎以外の記録は少ないと思われる。以前アカメガシワでの発生を確認しているが、今回エノキでの発生が確認できた。2014年脱出痕を確認していたが2015年は数百箇所の脱出痕が確認された。2015年12月15日材割をしたところ、蛹が確認でき、5頭持ち帰り自宅のティッシュペーパーを敷いたタッパーで5月20日羽化が確認できた。コメツキダマシの仲間は多数の脱出痕が密集していることが一つの特徴と思われる。

エノキミツギリゾウムシ

エノキミツギリゾウムシは記録の少ない種類であり、宮崎初記録と思われる。クロビロウドコメツキダマシの脱出痕から20cmぐらい離れたところで材表面から2~3cm内側、数cm×10数cmの範囲で20頭以上がまとまって越冬していた。蛹は確認できなかった。表面からは材の中で越冬している特徴を確認することなく材割を行った。材表面の特徴を見つけることができればこれからの発見が容易になるとと思われるため、冬季に再度この材の注意深い観察をしたいと思う。

お忙しい中、現地確認をされ、発表を勧めていただいた鈴木瓦博士にお礼申し上げます。

ヒメクロサナエとマルタンヤンマを確認

笹岡 康 則

(宮崎市大字島之内 9481 : 〒880-0121)

ヒメクロサナエ

2016年5月26日、宮崎市田野町鰐塚山山頂で吹き上げられたと思われるヒメクロサナエを採集した。山元一裕氏に写真確認をしていただいた。山元氏によると県南の記録は少ないとのことと発表を勧めていただいた。お礼申し上げます。

マルタンヤンマ

2016年7月5日、宮崎市高岡町瓜田ダムでライトトラップの準備中に飛翔個体を採集した。薄暮の時間帯、ダム奥の沢の流れ込む場所の道路を飛んでいた。記録として報告したい。

ヒナカマキリの記録

木野田毅

(都城市高城町穂満坊 350-3 : 〒885-1202)

今年の11月、日向市の小林賢司氏からかわいいカマキリが届きました。ケースの中で動いています。大きさはなんと15mmほど。その姿勢はオオカマキリなどとそっくりでした。腹部はピント上に向けています。小林さんが日向市の農協会館駐車場に居たとき、車の中に飛び込んできたそうです。暖かな日だったとのことでした。

我が家で1ヶ月ほど生きていました。記録自体が少ないとのことですので、ここに報告します。

本個体を採集し、恵与していただきました小林氏には、紙面をお借りしてお礼申し上げます。

記録

ヒナカマキリ *Iridopteryx maculate* Shirak 1頭

2016年11月27日 日向市日向市駅北側の農協会館駐車場にて

採集者：小林賢司



宮崎県産ハネカクシ科甲虫 2014年までの記録

渡辺 崇

(神奈川県藤沢市本鵠沼 3-7-16:〒251-0028)

ハネカクシ科甲虫は近年ハネカクシ科に加えられたアリヅカムシやデオキノコなどを含めると、日本からは2000種を超える数が記録されている。しかしハネカクシは小形で目立たない種が多く、生息環境が多様で、採集もなかなか困難、その上同定が難しく馴染めないというのが、一般のムシ屋の感想であろう。

しかし、日本にはそんな分類群を専門にしている研究者もいて、2013年に彼らの努力で、2012年までに記載された全ての種を網羅した「日本産ハネカクシ科総目録, 2013」が纏められた。全ての種に和名が付けられ、また改称も多い。

筆者はここ3年ほど、笹岡康則氏にご協力いただきながら、宮崎県産のハネカクシの採集をしている。いずれ県産のハネカクシの目録を作成したいと考えている。そのため、これまでの宮崎県内での記録を整理しておきたいと思い、笹岡氏にお願いして「タテハモドキ」のハネカクシが報告されているページを抽出するなど種々の資料を集めていただいた。それらをもとに2014年までに記録された種のリストを作成した。笹岡氏にはこの場を借りてお礼申し上げる。他の文献に記録されている宮崎県産の種もいるはずであるが調査していない。

記録は古いものもあり、その後種名や所属の変更などがあるので前記の「日本産ハネカクシ科総目録, 2013」に基づいて整理し、必要に応じて学名、和名とも変更した。種数は106種となった。同目録の分布域に九州本土の記録がなかった種は九州本土新記録とした。アリヅカムシやデオキノコムシなど近年ハネカクシ科に加えられたものは除いた。

Omaliinae ヨツメハネカクシ亜科

- | | | |
|---|---|-------------------------------|
| 1 | <i>Acruliopsis denticollis</i> Sharp
ヘリトゲヨツメハネカクシ | えびの高原(清水, 1969) |
| 2 | <i>Eusphalerum lewisi</i> Cameron
ルイスハナムグリヨツメハネカクシ | 大森岳(笹岡, 2014b) |
| 3 | <i>Eusphalerum parallelum</i> Sharp
キイロハナムグリヨツメハネカクシ | 高千穂峰(清水, 1969); 飯盛山(清水, 1969) |
| 4 | <i>Eusphalerum tsukushiense</i> Y. Watanabe
ツクシハナムグリヨツメハネカクシ | 綾町大森岳(笹岡・木野田, 2013) |
| 5 | <i>Eusphalerum yakushmanum</i> Y. Watanabe
ヤクシマハナムグリヨツメハネカクシ | 大森岳(笹岡, 2014a) |
| 6 | <i>Geodromicus hermani</i> Y. Watanabe
ハーマンミスギワヨツメハネカクシ | えびの市拘留孫峡(岩切他, 2010) |
| 7 | <i>Trigonodenum lebioides</i> Kraatz
クロモンヨツメシテムシトドギ | 大森岳(笹岡, 2014b) |

Proteininae ハバビロハネカクシ亜科

- | | | |
|----|--|---|
| 7 | <i>Megarthus convexus</i> Sharp
セマルハバビロハネカクシ | 南郷町大島(永井, 1991) |
| 8 | <i>Megarthus japonicus</i> Sharp
ハバビロハネカクシ | えびの市甕岳(磯崎, 1971) |
| 9 | <i>Megarthus montanus</i> K. Sawada
イナゴユハバビロハネカクシ | 掃部岳自然環境保全地域(中島他, 1979)(九州本土新記録) |
| 10 | <i>Megarthus parallelus</i> K. Sawada
ムツハバビロハネカクシ | 南郷町虚空蔵島(永井, 1989, <i>subparallelus</i> として報告) |

Micropeplinae チビハネカクシ亜科

- 11 *Micropeplus yasutoshii* Y. Watanabe 大森岳林道(笹岡・木野田, 2012)
ヒメセスシチビハネカクシ

Tachyporinae シリホソハネカクシ亜科

- 12 *Bolitobius princeps* Sharp 綾町大森岳林道(笹岡・木野田, 2014)
チャバネニセキノコハネカクシ
- 13 *Coproporus evanescens* Boheman 南郷町大島(永井, 1990, *Paracilea insulicola* として
アカセマルマルクビハネカクシ 報告されたがシノニムとされた)(九州本土新記録)
- 14 *Derops japonicus* Sawada 綾町川中(岩切・今坂, 2008)
ホソミスギワハネカクシ
- 15 *Lordithon sharpianus* Scheerpeltz 綾町大森岳林道(笹岡・木野田, 2014)
シャーフキノコハネカクシ
- 16 *Sepedophilus armatus* Sharp 掃部岳自然環境保全地域(中島他, 1979); 綾町川
クロゲヒメキノコハネカクシ 中(岩切・今坂, 2008); えびの市拘留孫峡(岩切他,
2010); 綾町大森岳(笹岡・木野田, 2013)
- 17 *Sepedophilus fimbriatus* Sharp 綾町川中(岩切・今坂, 2008)
オオヒメキノコハネカクシ
- 18 *Sepedophilus germanus* Sharp 大森岳林道(笹岡・木野田, 2012)
ムクゲヒメキノコハネカクシ
- 19 *Sepedophilus varicornis* Sharp 綾町川中(岩切・今坂, 2008)
クロヒメキノコハネカクシ
- 20 *Tachinus gelidus* Eppelsheim 南郷町大島(永井, 1991)
アカバマルクビハネカクシ
- 21 *Tachinus obesus* 綾町大森岳(笹岡・木野田, 2013)
ニセヤマトマルクビハネカクシ
- 22 *Tachyporus celatus* Sharp 綾町大森岳(岩切他, 2014)
クロスシリホソハネカクシ
- 23 *Tachyporus suavis* Sharp 檜葉自然環境保全地域(中島他, 1978); 赤松千本
ツヤグロシリホソハネカクシ 原(清水, 1969)

Aleocharinae ヒゲブトハネカクシ亜科

- 24 *Aleochara curtula* Goeze 掃部岳自然環境保全地域(中島他, 1979); 大森岳
ナカアカヒゲブトハネカクシ 林道(笹岡・木野田, 2012)
- 25 *Aleochara verna* Say 南郷町虚空蔵島(永井, 1989, *A. bipustulata* として
フタモンヒゲブトハネカクシ 報告されたが現在日本産はこの種名が正しいとさ
れている)
- 26 *Anomognathus armatus* Sharp えびの市甕岳(磯崎, 1971)
ハラトゲカレキハネカクシ
- 27 *Atheta transfuga* Sharp えびの市甕岳(磯崎, 1971, *Ischnopoda* として記録)
キバネチビハネカクシ
- 28 *Brachida clara* Weise 南郷町大島(永井, 1990)
オチバハネカクシ
- 29 *Coenonica lewisa* Sharp えびの市甕岳(磯崎, 1971)
ルイスカレハハネカクシ
- 30 *Homoeusa japonica* Sharp えびの市甕岳(磯崎, 1971); 檜葉自然環境保全地
ヤマトヒラタアリヤドリ 域(中島他, 1978)

- | | | |
|------------------------------|---|---|
| 31 | <i>Leucocraspedum pallidum</i> Cameron
マルケシハネカクシ | えびの市甑岳(磯崎, 1971) |
| 32 | <i>Oxyopoda subrufa</i> Sharp
アカコミハネカクシ | えびの市甑岳(磯崎, 1971) |
| 33 | <i>Placusa taphypoloides</i> Waltl
トゲヅリハネカクシ | えびの市甑岳(磯崎, 1971) |
| 34 | <i>Platyolopsis paradoxa</i> Bernhauer
ニセトビムシハネカクシ | えびの市甑岳(磯崎, 1971, <i>Platyola</i> として記録)(九州本土新記録) |
| 35 | <i>Porocallus insignis</i> Sharp
ツマキリチビハネカクシ | 大森岳(笹岡, 2014a) |
| 36 | <i>Tetrabothrus japonicus</i> Nakane
コンボウヒゲブトハネカクシ | えびの市拘留孫峡(岩切他, 2010); 南郷町大島(永井, 1993) |
| Piestinae ヒラタハネカクシ亜科 | | |
| 37 | <i>Piestoneus lewisii</i> Sharp
ルイスオオヒラタハネカクシ | 都農町尾鈴山(木野田, 2009) |
| 38 | <i>Siagonium nobile</i> Sharp
セミゾヒラタハネカクシ | 都農町尾鈴山(木野田, 2009) |
| Osoriinae ツツハネカクシ亜科 | | |
| 39 | <i>Nacaeus longulus</i> Sharp
ナガモリツツハネカクシ | 日之影町見立谷(磯崎, 1995, <i>Lispinus</i> として報告された); 祖母山(磯崎, 1997) |
| 40 | <i>Osorius taurus</i> Sharp
ツノフトツツハネカクシ | 日之影町見立谷(磯崎, 1995); 北川町祝子川大藪(木野田, 1996); 祖母山(磯崎, 1997); 宮崎市小花(三町, 1998); 宮崎市下北方、宮崎市田野町ユスの木、宮崎市住吉松原(左記3件笹岡, 2009); 西都市尾八重(笹岡, 2009); 日南市酒谷(笹岡・木野田, 2010); 南郷町大島(永井, 1990) |
| 41 | <i>Priochirus japonicus</i> Sharp
クロツヤツツハネカクシ | 宮崎市熊野(三町, 1998); 西都市尾八重(笹岡, 2009); 西都市前川林道(笹岡, 2009); 綾町大森岳(笹岡・木野田, 2013) |
| Oxytelinae セスジハネカクシ亜科 | | |
| 42 | <i>Anotylus crassicornis</i> Sharp
ヒゲブトセスジハネカクシ | えびの市甑岳(磯崎, 1971) |
| 43 | <i>Anotylus laticornis</i> Sharp
ヒメクロセスジハネカクシ | 宮崎市熊野(三町, 1998) |
| 44 | <i>Anotylus latiusculus</i> Kraatz
チビクロセスジハネカクシ | 綾町川中(岩切・今坂, 2008) |
| 45 | <i>Anotylus lewisius</i> Sharp
ルイスセスジハネカクシ | 南郷町虚空蔵島(永井, 1989) |
| 46 | <i>Anotylus mimulus</i> Sharp
シワハネセスジハネカクシ | えびの市甑岳(磯崎, 1971); 綾町川中(岩切・今坂, 2008) |
| 47 | <i>Anotylus vicinus</i> Sharp
トビイロセスジハネカクシ | 綾町大森岳林道(笹岡・木野田, 2014) |
| 48 | <i>Carpelimus siamensis</i> Fauvel
キハネヒメユミセミゾハネカクシ | 宮崎市熊野(三町, 1998)(九州本土新記録) |
| 49 | <i>Carpelimus vagus</i> Sharp
ニセヒメユミセミゾハネカクシ | 宮崎市熊野(三町, 1998); えびの市拘留孫峡(岩切他, 2010); 南郷町大島(永井, 1990) |

- 50 *Oxytelus nigriceps* Kraatz
クロスセスジハネカクシ
えびの市甑岳(磯崎, 1971); 宮崎市熊野(三町, 1998)
- 51 *Oxytelus piceus* Linnaeus
キハネセスジハネカクシ
日之影町見立谷(磯崎, 1995); 祖母山(磯崎, 1997)
- 52 *Thinodromus deceptor* Sharp
アカアシユミセミゾハネカクシ
綾町椎屋(木野田, 1996)
- 53 *Thinodromus sericatus* Sharp
ユミセミゾハネカクシ
えびの市拘留孫峡(岩切他, 2010)
- Oxyporinae オオキバハネカクシ亜科**
- 54 *Oxyporus basicornis* Cameron
ヒメオオキバハネカクシ
西都市前川林道(笹岡, 2009)
- 55 *Oxyporus parvus* Sharp
オオスオオキバハネカクシ
檜葉自然環境保全地域(中島他, 1978)
- Steninae メダカハネカクシ亜科**
- 56 *Stenus alienus* Sharp
ホソフタホシメダカハネカクシ
鰐塚山(磯崎, 1994)
- 57 *Stenus cicindeloides* Schaller
アシマダラカワベメダカハネカクシ
高千穂峰(清水, 1969)
- 58 *Stenus macies* Sharp
トウホソナガメダカハネカクシ
檜葉自然環境保全地域(中島他, 1978)
- 59 *Stenus melanarius* Stephens
コクロメダカハネカクシ
綾町大森岳林道(笹岡・木野田, 2014, 以前は *verecundus* という亜種とされていた)
- 60 *Stenus rugipennis* Sharp
キアシホソメダカハネカクシ
砂土原町仲間原(木野田, 2009)
- 61 *Stenus tenuipes* Sharp
フタホシメダカハネカクシ
南郷町大島(永井, 1993)
- Paederinae アリガタハネカクシ亜科**
- 62 *Astenus chloroticus* Sharp
ヤマトシリグロハネカクシ
南郷町大島(永井, 1990)
- 63 *Astenus latifrons* Sharp
キアシハラグロハネカクシ
南郷町大島(永井, 1990); 霧島山御池(清水, 1969)
- 64 *Astenus maculipennis* Kraatz
フタホシシリグロハネカクシ
都城市高城町穂満坊(木野田, 2014)
- 65 *Lathrobium pollens* Sharp
コハネナガハネカクシ
えびの市甑岳(磯崎, 1971)(おそらく近縁の別種であろう)
- 66 *Lithocharis nigriceps* Kraatz
クロストガリハネカクシ
綾町川中(岩切・今坂, 2008)
- 67 *Lobrathium nudum* Sharp
ツツナガハネカクシ
南郷町大島(永井, 1993)
- 68 *Medon lewisius* Sharp
ネアカタガリハネカクシ
綾町大森岳林道(笹岡・木野田, 2014); 綾町大森岳(笹岡・木野田, 2013)(九州本土新記録)
- 69 *Ochtheophilum densipenne* Sharp
クロカワベナガエハネカクシ
宮崎市下原(三町, 1998)
- 70 *Ochtheophilum kurosai* T. Ito
ツマアカカワベナガエハネカクシ
日之影町水無(磯崎, 1995); 宮崎市高岡町穆佐(笹岡, 2009); 宮崎市カブトムシの森(笹岡・木野田, 2009)

- 71 *Paederus fuscipes* Curtis
アオハアリカタハネカクシ
日之影町水無及び見立谷(磯崎, 1995, 学名が *angustipennis* となっていたが変更); 日之影町七折及び岩井川(磯崎, 1997); 高千穂町五ヶ所(磯崎, 1997); 祖母山(磯崎, 1997); 宮崎市下原(三町, 1998); えびの市拘留孫峡(岩切他, 2010); 南郷町虚空蔵島(永井, 1989); 南郷町大島(永井, 1990) 綾町川中(岩切・今坂, 2008); 綾町大森岳(岩切他, 2014, *Achenomorphus* として報告) 宮崎市高岡町穆佐(笹岡, 2009); えびの市拘留孫峡(岩切他, 2010)
- 72 *Panscopaeus lithocharoides* Sharp
クロニセトガリハネカクシ
- 73 *Pinophilus punctatissimus* Sharp
オオクビブトハネカクシ
- 74 *Rugilus japonicus* Y. Watanabe
ツマキクビホソハネカクシ
- 75 *Rugilus rufescens* Sharp
クビホソハネカクシ
- 76 *Scopaeus virilis* Sharp
チビヒメクビホソハネカクシ
- 77 *Sunesta setigera* Shar
タチゲクビホソハネカクシ
えびの市拘留孫峡(岩切他, 2010)(九州本土新記録)
南郷町虚空蔵島(永井, 1989); 南郷町大島(永井, 1990)(左記の2件では *Stillicopsis* として報告)
- Staphylininae ハネカクシ亜科**
- 78 *Agelosus carinatus brevipennis* Naomi
アカハハハビロオオハネカクシ
掃部岳自然環境保全地域(中島他, 1979?); 南郷町大島(永井, 1990)
綾町大森岳(笹岡・木野田, 2013)
- 79 *Agelosus unicolor unicolor* Naomi
クロハネハハビロオオクロハネハネカクシ
- 80 *Algon grandicollis* Sharp
ムネビロハネカクシ
南郷町大島(永井, 1990)
- 81 *Anisolinus elegans* Sharp
ツヤケシブチヒゲハネカクシ
大森岳林道(笹岡・木野田, 2012)
- 82 *Bisnius germanus* Sharp
チャイロニセコガシラハネカクシ
南郷町大島(永井, 1990, *Philonthus* として報告)
- 83 *Caphius vestitus* Sharp
アハタウミハネカクシ
南郷町大島(永井, 1991)
- 84 *Creophilus maxillosus* Linnaeus
オオハネカクシ
宮崎市(三町, 2002); 宮崎市高岡町穆佐(笹岡, 2009)
- 85 *Eucibdelus japonicus* Sharp
ハイロハネカクシ
北川町祝子川小岩屋(木野田, 1996); 南郷町虚空蔵島(永井, 1989); 南郷町大島(永井, 1990); 大幡山(清水, 1969); えびの高原(清水, 1969); 韓国岳(清水, 1969)
大森岳林道(笹岡・木野田, 2012)
- 86 *Indoquedius junio* Sharp
ヤマトオオメハネカクシ
- 87 *Nudobius pleuralis* Sharp
ツマキツヤナガハネカクシ
北川町祝子川巢の津屋(木野田, 1996, *apicipennis* として報告)
- 88 *Ontholestes gracilis* Sharp
サビハネカクシ
えびの市甕岳(磯崎, 1971); 檜葉自然環境保全地域(中島他, 1978); 高房台(磯崎, 1983); 木城町中の又(中武, 2001)
綾町大森岳(岩切他, 2014)
- 89 *Othius medius* Sharp
ウスアカハソハネカクシ
- 90 *Philonthus caeruleipennis* Mannerheim
ルリコガシラハネカクシ
北川町祝子川瀬戸口谷(木野田, 1996)(以前は *cyanipennis* とされていた)

- | | | |
|-----|---|--|
| 91 | <i>Philonthus japonicus</i> Sharp
クロオコガシラハネカクシ | 宮崎市熊野(三町, 1998) |
| 92 | <i>Philonthus kobensis</i> Sharp
フタイロコガシラハネカクシ | えびの市甕岳(磯崎, 1971); 綾町川中(岩切・今坂, 2008) |
| 93 | <i>Philonthus numata</i> Dvorak
キアシチビコガシラハネカクシ | 宮崎市熊野(三町, 1998, 学名が違うので和名を採用); 綾町川中(岩切・今坂, 2008) |
| 94 | <i>Philonthus rectangulus</i> Sharp
カクコガシラハネカクシ | 宮崎市熊野(三町, 1998) |
| 95 | <i>Philonthus spadiceus</i> Sharp
ヒラタコガシラハネカクシ | 宮崎市木花(三町, 1998) |
| 96 | <i>Philonthus spinipes</i> Sharp
オオアカバコガシラハネカクシ | 延岡市鏡山(木野田, 1987); 宮崎市木花(三町, 1998) |
| 97 | <i>Philonthus sublucanus</i> Herman
キヌコガシラハネカクシ | 檜葉自然環境保全地域(中島他, 1978); 南郷町大島(永井, 1990, <i>sericans</i> として報告) |
| 98 | <i>Philonthus tardus</i> Kraatz
ヘリアカバコガシラハネカクシ | 掃部岳自然環境保全地域(中島他, 1979); 木城町中の又(中武, 2001, <i>solidus</i> として報告) |
| 99 | <i>Phucobius simulator</i> Sharp
ツヤケシアカバウミベアカバハネカクシ | 日向市小倉ヶ浜(中武, 2001) |
| 100 | <i>Phytolinus variegatus</i> Sawada & Nakane
シラフアシヒロハイロハネカクシ | 高千穂河原(磯崎, 1973) |
| 101 | <i>Platydracus brachycerus</i> Smetana & Davies
ヒメクロガリオオスハネカクシ | 川南町遊学の森(笹岡・木野田, 2010); 大森岳林道(笹岡・木野田, 2012) |
| 102 | <i>Platydracus brevicornis</i> Motschulsky
アカバトガリオオスハネカクシ | 宮崎市カブトムシの森(笹岡・木野田, 2009) |
| 103 | <i>Platydracus inornatus</i> Sharp
クロガネガリオオスハネカクシ | えびの市甕岳(磯崎, 1971) |
| 104 | <i>Quedius pectinatus</i> Sharp
クシヒゲツヤムネハネカクシ | 宮崎市熊野(三町, 1998, <i>Velleius</i> として報告) |
| 105 | <i>Quedius setosus</i> Sharp
コクシヒゲツヤムネハネカクシ | 綾町大森岳(岩切他, 2014, <i>Velleius</i> として報告) |

文献一覧

- | | |
|-----------------|--|
| 磯崎恵明, 1971 | Baited Trap による甲虫類 (1). タテハモドキ, (6): 51-54. |
| 磯崎恵明, 1973 | 東霧島の昆虫. タテハモドキ, (8): 12-13. |
| 磯崎恵明, 1983 | 高房台の昆虫類. タテハモドキ, (19): 19-24 |
| 磯崎恵明, 1994 | 鰐塚山麓(持田一帯)に棲息する昆虫類の採集記録. タテハモドキ, (30): 107-109 |
| 磯崎恵明, 1995 | 見立・傾山系の昆虫類. タテハモドキ, (31): 34-56. |
| 磯崎恵明, 1997 | 西臼杵地方の甲虫類の採集記録. タテハモドキ (33): 23-56. |
| 磯崎恵明, 2000 | 青井岳の昆虫採集記録. タテハモドキ. (36): 51-66. |
| 岩切康二・今坂正一, 2008 | 綾町川中においてFITで採集した甲虫類. タテハモドキ, (44): 13-16. |
| 岩切康二他, 2010 | えびの市拘留孫峡において採集した甲虫類. タテハモドキ, (46): 32-37. |

- 岩切康二他, 2014 昆虫類(里山の昆虫類全般), 平成24・25年度綾ユネスコエコパーク生物生育・生息基礎調査報告書, pp 241-369.
- 木野田毅, 1987 恒富中学校昆虫クラブの採集記録. タテハモドキ, (23): 15-17
- 木野田毅, 1996 宮崎県で採集した甲虫の記録 I. タテハモドキ, (32): 7-26.
- 木野田毅, 2009 宮崎県の甲虫の記録. タテハモドキ, (45): 44-53.
- 木野田毅, 2014 宮崎県内の甲虫の記録. タテハモドキ, (50): 28-37
- 三町美一郎他, 1998 宮崎市熊野地区の甲虫類. タテハモドキ, (34): 13-35.
- 三町美一郎, 2002 食品異物としての昆虫について. タテハモドキ, (38): 45-51.
- 永井脛, 1989 南郷町大島および虚空蔵島の甲虫. 宮崎県高等学校教育研究会理科部会会誌 (26): 1-3
- 永井脛, 1990 (続)南郷町大島および虚空蔵島の甲虫. 宮崎県高等学校教育研究会理科部会会誌 (27): 21-26
- 永井脛, 1991 (続々)南郷町大島および虚空蔵島の甲虫. 宮崎県高等学校教育研究会理科部会会誌, (28): 1-3
- 永井脛, 1993 南郷町大島および虚空蔵島の甲虫(補遺 1). 宮崎県高等学校教育研究会理科部会会誌, (30): 103-105
- 中島義人他, 1978 檜葉自然環境保全地域における昆虫. タテハモドキ (13): 23-35
- 中島義人他, 1979 掃部岳自然環境保全地域における昆虫. タテハモドキ, (14): 29-36
- 中武文広, 2001 木城町中の又に於ける甲虫採集記録. タテハモドキ, (37): 19-20.
- 中武文広, 2001 日向市・海浜の甲虫採集. タテハモドキ, (37): 21-24.
- 笹岡康則, 2009 宮崎県の甲虫記録. タテハモドキ, (45): 23-40
- 笹岡康則・木野田毅, 2009 宮崎市・カブトムシの森の昆虫記録. タテハモドキ, (45): 41-43
- 笹岡康則・木野田毅, 2010 宮崎県内の甲虫の記録. タテハモドキ, (46): 45-74.
- 笹岡康則・木野田毅, 2012 宮崎県内の甲虫の記録 II, タテハモドキ, (48): 19-32
- 笹岡康則・木野田毅, 2013 綾町等の甲虫の記録, タテハモドキ, (49): 1-16
- 笹岡康則・木野田毅, 2014 綾町等の甲虫の記録. タテハモドキ, (50): 38-42
- 笹岡康則, 2014a 宮崎県内で採集した甲虫. タテハモドキ, (50): 19-27
- 笹岡康則, 2014b 昆虫類(甲虫類). 平成24・25年度綾ユネスコエコパーク生物生育・生息基礎調査報告書, pp. 369-390
- 清水薫, 1969 霧島山の昆虫. 霧島総合調査報告書, 237-284.

= 編集後記 =

宮崎昆虫同好会の会誌「タテハモドキ」は、今回の52号より、A4版としました。文字のサイズは基本10.5ポイントとなりました。写真も大きく載せることができたり、多く載せることが出来たりということがかなったのではないかと思います。しかし、これまで文献として収納されている方から、サイズが異なってしまったなー、というつぶやきも聞こえてきそうです。

これからあと48号続いて100号になる頃には、A4のタテハモドキも49冊並ぶことになるでしょうから、どうかよろしくお願いします。

投稿規定については、53号に掲載します。今回は、A4サイズのワードで原稿をいただいています。全て電子メールにてそのファイルや写真をいただいています。A4原稿の余白は上下ともに25mm、左右が20mmです。次号もこのぐらいの書式になるのではと思っています。

(木野田)

タテハモドキ 52号

発行日 : 2016年12月31日
発行者 : 宮崎昆虫同好会 (郵便振替口座 01700-8-68700)
〒885-1202
都城市高城町穂満坊350-3 木野田 毅 方
TEL/FAX : 0986-58-5141
E-Mail : athemus@mnet.ne.jp
年会費 : 3,000円
編集者 : 木野田 毅
印刷社 : ひらさわデザイン印刷
(〒889-4602 都城市山田町中霧島 3485-1 Tel : 0986-64-0564)

表紙写真 : 立ち枯れたアカマツの樹皮下で羽化を待つホンドリセハイイロハナカミキリ
(笹岡康則 撮影)

目 次

ミカドアゲハの蛹化方向－葉先方向？それとも葉柄方向？－(Ⅱ)	川 野 雅 喜	1
宮崎県内の甲虫	笹 岡 康 則	9
九州大学宮崎演習林の蛾	小松、木野田、岩切、堀内	1 9
九州大学宮崎演習林のカメムシ	小 松 孝 寛	2 5
九州大学宮崎演習林の甲虫	木 野 田 毅	3 1
宮崎県の水生昆虫 1 6 種	木 野 田 毅	3 2
オオチャイロハナムグリを採集	日 高 謙 次	3 3
宮崎県のハネカクシ科 3 8 種	木 野 田 毅	3 4
鱈塚山でクチキウマの仲間を採集	笹 岡 康 則	3 6
宮崎市のハネカクシ	渡 辺 崇	3 7
九州初記録のメダカハネカクシ	渡 辺 崇	3 9
宮崎県内の海浜性ハネカクシ採集記録	渡 辺 崇	4 0
宮崎県内の甲虫 5 9 種	木 野 田 毅	4 1
ミヤマクワガタ、オスの奇形	山 元 修 成	4 5
ヘクソカズラゲンバイ、宮崎市に到達	小 松 孝 寛	4 6
クロボシセセリ、大淀川を渡る	小 松 孝 寛	5 0
クロバアカサンガメを採集	日 高 謙 次	5 2
タイワンオオシオカラトンボを串間市で写真撮影	河 野 宰	5 3
ハチマガイスカシバを串間市で目撃・撮影	河 野 宰	5 3
キモンクチバを串間市で写真撮影	河 野 宰	5 4
キンモンノメイガを串間市で目撃・撮影	河 野 宰	5 4
2016 年の宮崎県北のクロマダラソテツシジミの記録	安 本 潤 一	5 5
延岡市北方町でベニイカリモンガを採集	安 本 潤 一	5 5
ミンミンゼミの遅い鳴き声記録	安 本 潤 一	5 5
延岡市行藤町でシータテハ採集	安 本 潤 一	5 6
ヤマトスジグロシロチョウの晩秋の記録	安 本 潤 一	5 6
アシビロヘリカメムシの記録	木野田毅・小林賢司	5 8
エノキ伐採木のクロビロウドコメツキダマシと エノキミツギリゾウムシ	笹 岡 康 則	5 9
ヒメクロサナエとマルタンヤンマを確認	笹 岡 康 則	5 9
ヒナカマキリの記録	木 野 田 毅	6 0
宮崎県産ハネカクシ科甲虫 2014 年までの記録	渡 辺 崇	6 1